(明治卅九年九月一日第三種郵便物認可) 大正五年十月二十二日 THE KEIJO NIPPO 第三千二百七十四號(一)

# 京城日報

二十一日夕刊

定價 本紙 一部金二錢五厘 一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢(郵税前金)▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲場所指定は一行金壹圓 ▲二號活字は五號活字の二行 ▲三號活字は同樣 ▲六號活字の一行は同樣の事

發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯 三四番 營業 五一番 振替貯金口座 京城三六〇〇番

時間表

## 英佛提督の希王會見

雅典來電に依ればエリオット英國海軍提督は希臘國王に謁見せり此會見は希臘軍のラリッサ問題に關するものと信ぜらる又佛國海軍提督は公安維持の任に當り彼の決定事項は論議を許さざるべきを告げ鐵道車輛二百の引渡を要求し二千の水兵をバイリアスより雅典に鐵道にて混合輸送する爲めに幾何の時間を要すべきかと問合せたり(倫敦電報)

## 印度立法部の要求

印度最高立法會議委員十九名は連署して印度政府に對し諸種の要求をなせるが印度政府は該要求を重要視しつゝあり(倫敦電報)

## 第五會議結末 鄭家屯事件交渉

林公使は芳澤參事官其他と共に外交部を訪ひ陳總長代理夏外交次長と會見し鄭家屯事件に關し交渉を爲したり回答は支那側の主張を日本に報告し日本側の意見は國務會議に報告し互に意見の一致を圖るを約し茲に十八日會見を終りたるを以て世間は大に注目を排ひたり陳總長代理は警察問題は主權に關し之を承認するは國務院の反對する所且輿論の攻撃を受け支那としては容易ならざる問題なる理由を述べ相互の辯論三時間半に亘り陳總長代理は更に此の説明を國務會議に報告し其の評議を經て回答すべきを約し茲に第五回會議を終れり(北京特電)

## 夏次長代理說

外交總長は後任を得るに苦しみ一時提出を見合せ夏次長を當分總長代理たらしむべしとの說あり(北京特電)

## 張勳の馮排斥

張勳は各省聯合の上馮國璋を副總統に推薦しつゝあるを排斥せんとしつゝあり(北京電報)

## 吉林戒嚴解除

襄軍南下宗社黨蹶起の爲め萬一の變に備へん爲め吉林省城に布れたる戒嚴令は一切原因除却せる今日最早存續の必要なく軍事會議の結果今回解除され城門各要路に配置されたりし守備兵は撤退したり(吉林特電)

## 住友の南支發展

住友倉庫支配人は二十一日春日丸にて上海より歸來せるが其の談に曰く住友は今回上海漢口に各銀行支店を設置し上海は十一月漢口は本年中に開業する豫定なるが事業としては銀行以外自家製品の販賣を主として爲す筈なりと(門司特電)

## 露軍需品註文

露國政府は我國に對し又復六千萬圓の軍需品を註文し來れり(東京電報)

## 又露藏劵引受

政府は更に露國藏劵六千萬圓の募集を引受くる事に決せるが前回同樣銀行團の手に於て募集し使途は軍需品新注文代價支拂に充當せらるゝものなり(東京電報)

## 日露銀行問題

日露銀行設立の件は彼我實業家の意見漸次接近しつゝあるを以て早晚其成立を見るの運びとなるべしと傳へらる(東京電報)

## 天長節大夜會

寺內外相は天長節の祝日當夜官邸に内外貴紳を招待し大夜會を催す豫定なり(東京電報)

## 首相下院招待

寺內首相は二十三日午後六時半より衆議院議員代表者を永田町官邸に招き就任披露の晚餐會を催すべしと(東京電報)

## 上海生系組合代表者

上海生系組合代表者五名二十一日郵船春日丸にて門司に寄港東上せり(門司特電)

## 政務總監視察

山縣政務總監は小松翰長高橋武官遠藤秘書官等を隨へ二十一日午前十一時三十分總督府出門京畿道恩賜授産機業場に赴き松永京畿道長官以下同道主要職員等の案内にて陳列品及び機業傳習所狀況を視察正午歸還せり

## 奉慶獻金取纏

立太子式奉慶記念品獻納の爲め內地は勿論臺灣朝鮮各地の文武高等官一同より獻金に決し各地とも昨今取纏中なるが朝鮮にても高等官の獻金額は月俸百分一と定め文官の獻金は總督府に於て一括の事となり居れるが其の金額は數千圓に達す可しと

## 東拓總裁の更迭

二十一日左の如く東洋拓殖會社總裁の更迭發表されたり

朝鮮總督府農商工部長官從三位勳一等 石塚英藏
東洋拓殖株式會社總裁被仰付

右發表と同時に吉原總裁の辭表を左の如く聽許されたり(東京特電)

正四位勳二等 吉原三郎
願に依り東洋拓殖株式會社總裁を免せらる

新任東拓總裁 石塚英藏氏

## 平壤の觀兵式

十月三十一日午前十時より平壤練兵場に於て天長節奉祝の觀兵式を擧行すべく統裁官は市川衞戍司令官にして閱兵式及び分列式を行はるゝ由

## 旅團幹部演習

步兵第三十九旅團幹部演習は本月二十四日より向ふ一週間黃海道沙里院附近に於て實視すべく此演習實施の爲秋山軍司令官は二十七日より三十日迄白水軍參謀長は廿四日より廿七日迄立花師團長は廿四日より卅日迄演習地に出張實視すべし統裁官は市川三十九旅團長にして演習員は平旅七十七聯隊より山口、林、田崎の三少佐菊池、高山、井上三大尉龍山七十八聯隊より中村中佐、小林、小柳兩少佐前澤、長渡、佐々木三大尉龍山騎兵中隊より中村大尉龍山砲兵中隊より田大尉參加すべし而して此演習の爲に旅行する人馬は人員四十六馬匹二十六頭なりと

## 川村元帥歸東

北滿に於ける第十七師團演習檢閱を了し歸東の途にある川村元帥は二十日午後七時釜山著直に停車場ホテルに入り夕食を調へ八時半發連絡船さくら丸にて歸東せるが元帥には釜山棧橋京城ホテル賣店にて朝鮮土產品數點を買求めたり(釜山)

## 市川旅團長出張

市川旅團長は十月廿一日幹部演習地實地踏査の爲副官一名を隨へ黃海道方面へ出張せり

## 山形大佐滿洲出張

警務總監部高等警察課長山形憲兵大佐は往復約二週間の豫定にて廿三日南大門驛發列車にて滿洲方面に出張すべし

## 京畿隊署長會議

京畿道警務部にては從來每週水曜日に京城府內憲兵警察各隊署長を召集し一般事務の連絡及衞生其他に關し打合をなしつゝありしが都合により每週金曜日に開催することに變更し廿日午後一時より府內各隊署長を召集し隈部隊長主催の下に打合を爲す所ありたり

## 橋本事務官歸任

南鮮各地に於ける遞信狀況視察中なりし橋本事務官は二十一日朝歸任せり

## 朝郵增配せむ

朝鮮郵船會社の今期決算による利益配當率は最近迄原田社長初め重役の意嚮假令利益多額に上るもそは戰亂による臨時的の收入に付斷じて增配の擧に出でず依然從來の年七分の配當を持續すべしとの意向なりしも其後精算を進めし所運賃値上に因らざる時局關係の增收意外に多く之れを船價償却積立配當平均準備其他の積立に相當額以上を振り向くるも尙ほ剩餘の利益金少なからず而して總督府の補助金にて今後年七分の配當を繼續する事は十分可能との見越し付きたると一方株主側の增配希望は切なるものある爲め今期の利益配當は普通配當年七分に若干の特別臨時配當(多分年二分の割ならん)をなす事となるべく從つて會社員に對する賞與金をも增額すべき模樣なり

## 軍需供米は損失か

京仁精米業者に於て引受けたる露國軍需精米の第一回發送を本月末若くは來月上旬に行ふ事は昨報の如きが其の用米として東洋拓殖會社よりは沙里院金堤榮山浦各出張所藏米一萬餘石を提供する事となり目下盛んに廻送中なるが引受者等は東拓米其他の古米に最近出廻べき新米を加へ精米を急施し十二月末迄に發送し了す計畫の由但米價が契約當時より上値なると傭船料の低廉ならざる事時日遲延せし事等により今回の軍需米供給は若干の損失を免れざる如しと

## 東洋奬工會社の其後

東洋奬工株式會社の創立準備に付ては朝鮮に於ける各發起人側及び贊成者の持株大要決定したるため續て內地に於ける贊成者の勸誘をも試む可く事務員をして約二箇月に亙り募集を行ひたる結果內鮮の持株を合せ約八分通りの應募者を見るに至れり然るに其後發起人中より殘り株を同業者以外の者より公募すべしとの說を爲すもの或は會社の創立を暫時延期すべしと主張するもの等あれば結局近々發起人總會を開會したる上今後の方針を決することゝなるべし

## 第一生命の選擧會

同社在朝鮮の社員數は本年に於て既に總契約高五十分の二を越へ定款所定の社員總代二名選出の資格生じたるを以て廿日午後一時より京城商業會議所に於て其選擧會を開き選擧委員渡邊高等法院長山縣ソールプレス社長等立會の上選擧委員長矢野恒太氏代理朝鮮支部長堀田遊度氏司會にて京城松本正寬氏及び釜山坂田文吉の兩氏を選擧し二時閉會したり尙同社本年度の營業成績は新契約高五百十八萬餘圓の內純增加三百十四萬餘圓期末契約高三千五百二十七萬餘圓にして收入保險料及び諸利息等總收入百九十餘萬圓之れに對する事業費は十八萬餘圓にして即ち收入金對事業費の割合は九歩七厘の低位にありと

## 長湍驛前より

西海生

二十日朝

▲長湍は長湍大豆を以て其名全鮮に鳴り、內地にも廣く聞へ居り候小生は豆類の集散する長湍驛前には無論多少の穀類商人と旅館あるべしと存じ開城一泊を變更し昨夜下車仕り候

▲下車して承はれば、聞くと見るとの差の著しき隔たりに吃驚仕り候、驛前の一小部落は鮮人のみにて內地人の住めるは僅に四戸然もそは運送店、驛夫、金貸、遊人に過ぎずと云ふ、此の四戸の外鐵道官舍二三戸程、可なり離れた所に有之候

▲驛長は小生元山在勤中釋王寺驛長たりし人とて舊知の間柄、乃ち附近の狀勢を聞く、旅館なき爲め驛長の紹介にて小島居運送店方に一泊の厄介を相かけ候、同店主は地小內地人部落の顏役らしく而して長湍驛前の草分けに有之、大豆の狀態なども付可なり詳しく語り呉れ候

▲要するに京元線の全通並に道路等の關係は近年長湍大豆の長湍驛より發送する物を激減致し居り候或は長湍大豆は汶山大豆の名に壓倒されんとする模樣も見ゆ候、此の所長湍郡當局の努力を要するものあり、何れ其邊の事は歸來詳報可仕候

▲驛前の內地人は五六戸に過ぎざるも、附近一里以內乃ち學校組合地域の內には營農者や東拓移民やら彼是二十戸程あり學童も十人餘り居る由にて今回小島居氏等の盡力により小學校新設の事決定、其筋の認可を經て目下校舍建築中の由に候、四五戸現在の部落に一學校とは一寸朝鮮の田舍でなくては見られぬ圖に候

▲學校組合豫算も年額六七百圓、敎師も一人の由なり、然し長湍郡の內地人學校は此地の設立を以て嚆矢とする由、郡廳所在地の邑內にも未だ設けなしとの事に候

## 株式界と東拓株

東洋拓殖會社の株式近況を聞くに內地金融經濟の大勢による金利低落の傾向は諸公債の騰貴を促し居れるが從つて東拓株も氣配を持ち九月末迄六十七八圓方を保ち居たりしもの十月に入つてヂリ高となり七十五圓を示し七十八圓に上り昨今八十圓臺に達したるが尙ほ先高の模樣あり從つて其の賣買も多少宛行はれ居れりと

## 辭令

總督府醫院副醫官 金杉榮藏
敘高等官六等

## 義州

▲農產畜牛品評會 義州郡廳にては昨年の始政五年共進會に鑑み一層地方的に產業奬勵の實を擧ぐる爲め義州普通學校其の他を利用して十一月五日より五日間第一回農產品評會及び第二回畜牛品評會を開催す可く其計畫已に成り材料蒐集中なり出品點數合計二千六百二十五點の豫定にて種類は普通作物、特用作物、果實、蔬菜、生絲、織物、副業製作品、林產物、雜畜牛、乾草の十二點なり ▲射擊會 義州在鄉軍人分會は來る二十一日午後城外の陸軍射擊場にて例年の如く秋季射擊會を開催

## 平壤

▲敎育勅語奉戴 平安南道公立鎭南浦商工學校及び大同郡斧山公立普通學校に對し敎育勅語謄本下賜せられたるが十月二十日平安南道廳に於て奉戴式を擧げたり ▲奉祝唱歌配布 文部省に於て選定せる立太子式唱歌は公立普通學校及び公立小學校へ配附の分本月十八日府郡を經由して五十六部配送せられたり ▲校長會終了 過日來平壤箕陽俱樂部に於て平安南道普通學校々長會開催中の處昨十九日を以て終了し廿日其々歸任せり ▲保護牛選定 平安南道に於ては本年七月總督府令を以て發布せられたる保護牛規則に基き保護牛規程を設け民間の優良牛より種牡牛種牝牛牡犢牝犢の四種を選定し之に保護料を給與保護することゝ爲せり本年度に於ては種牡牛百七十六頭同牝牛七百頭牡犢二百五十頭牝犢三百五十頭計一千四百七十六頭を選定すべく而して之に對する豫算額は種牡牛五百二十八圓其種牝牛獎勵金三百五十二圓牝牛一千四百圓牡犢五百圓牝犢五百二十五圓計三千三百零五圓にして之が選定檢查は府郡駐在の畜產技術員をして當らしめ技術員の駐在せざる价川、德川、江西の諸郡には道より已に根本畜產技手及び小南道技手浦江檢查員等を派遣し本年十一月中に其指定を完了せしむる由にて十月十八日部署を定め各地方に出張せり

## 黃州

▲黃海道三郡品評會 黃州郡、鳳山郡、瑞興郡三郡物產品評會は來る十一月一日より向ふ十日間黃州城內に於て擧行する筈なるが人氣一般に緊張し何れも準備に忙殺されつゝあり而して同品評會は十一月一日開會式を擧げ十一月十日褒賞授與式を行ひ閉會する由にて此の間三郡に於ける七十種三千餘の物品を陳列し展覽會を催す外附帶事業として改良機織蓮織精米等を實地に見せしめ尙總督府の技師を招聘して農談會及び三郡聯合の畜牛品評會を開催し一面三郡聯合の學校生徒成績品展覽會を十日間開催することに決定せり ▲裁判所設置請願 黃州居住民は同地に裁判所なきは一般の取引上不便なりとし此程平壤地方法院支廳設置請願の件を協議し同地の有志西田源吉穗阪秀一石井安次郎等の名義を以て黃海道廳を經由し其筋に請願書を提出せりと云ふ ▲果樹講演會 黃州學校組合管理者穗阪秀一氏は同地方の果樹栽培に付き目下西鮮旅行中の水原模範農場技師を聘し本月廿六日頃同地に於て果樹講演會を開催する由 ▲松風會の謠會 黃州松風會第三十九回は十月十七日午後一時より荒內氏邸內にて擧行せられたるが同地の好劍家森口佐藤西堀石井荒內植村石田福田、田野邊永岡等の諸氏出演せり ▲武術大會 黃州の在鄉軍人分會長西田中佐同地警察署長岩崎警部其他有志の發企にて同地に於ける三郡物產品評會開期中開催すべく準備中なるが近く平南黃海其他各地方の劍客柔道家其他在鄉軍人等に案內狀を發せり

## 元山

▲元山築港工事 最近元山に於ける築港工事は虎疫流行の影響を受け幾分進捗を阻害せるもの如く今其の狀況を示さんに埋築は虎疫流行と共に人夫の使用に際し最も注意を拂へる爲め使用人夫割合に尠く昨今は一日平均二十坪の埋築を續行し埋築全坪數は一萬八百坪餘に達し居れり防波堤捨石工事は全投石坪數二千八百坪に對し既に二千六百餘坪の投石を終りたるを以て茲數日を出でずして全部の竣成を見るに至るべく浚渫工事は虎疫の爲め從前の如く捗々しからざるも每日二隻の浚渫船にて九十餘坪宛の浚渫を續け合計約四千坪の浚渫を計上し居れり此の外岩壁に於ける準備工事は船腹不足にて鐵筋不著の爲め進捗を見るに至らず鐵筋到著と同時に著手すべしと ▲元山驛長更迭 元山驛長光永喜太郎氏は十六日附を以て淸津出張所營業主任を命ぜられ二十一日北行の列車にて赴任の筈にて之れが後任としては新安州驛長たりし小藥太一郎氏二十日來任の由 ▲商議豫算進達 既報の如く又復却下されたる元山商業會議所豫算案並に賦課徵收方法等に就き今回は會議の召集をなさず其筋の指示に基き回文を以て修正を可決し十七日附元山府廳を經由し再び申達を了せり

## 仁川

▲展覽會開催 仁川高等女學校にては來る三十一日より二日間學藝展覽會を催す可しと ▲校旗制定式 仁川尋常高等小學校にては天長節祝日を以て奧田貞次郎氏より寄贈ありし校旗制定式を擧行する由

## 十八日對支交涉公報

十八日林公使と陳外交總長代理と鄭家屯事件に關し會見せし公報其筋に到著せしが之に依れば豫期されし如く陳氏は依然責任を避け正式總長就任も近きに在るべければ其迄待たれたしと望み林公使は斯くの如く事理明白なる問題に就きて交涉を延期するは內外の誤解を招き日支國交の爲め面白からざる次第なれば一日も速かに解決に努められ度く兎も角も本問題に對する段內閣の意見だけは速かに纏められたしと主張し陳氏も之に承諾の旨を述べ他に要求條件內容に立ち入りて論議する所あり後懇談的に陳氏は支那內閣目下の苦境を說き我が同情を求めたり猶次回は多分二十一日行はるべし(東京特電)

## 閔長官の訪宮

李王家御名代李王職長官子爵閔丙奭氏は金事務官を從へ二十一日午前十時三十分宮內省に波多野宮相を訪問し挨拶を述べたる後伊藤式部次官に面談し十一時退出せり(東京特電)

## 石塚長官免官

石塚農商工部長官東拓總裁仰付らるゝと共に左の如き辭令あり(東京特電)

朝鮮總督府農商工部長官 石塚英藏
依願免本官

## 石塚氏勅選

東洋拓殖會社總裁石塚英藏氏に對し左の御沙汰あり(東京特電)

貴族院議員に任す 石塚英藏

## 人事消息

▲井世續氏(李王職事務官) 二十日全羅南道管內へ出張
▲萩原文一氏(水產技師) 二十二日朝江原道に出張十一月五日歸任の豫定
▲廣川直三郎氏(釜山中學校長) 十一月上旬より東京、長崎、新潟地方へ出張の筈
▲高橋亨氏(大邱高等普通學校長) 十一月五日より東京、石川、新潟へ出張の筈
▲松木中佐▲柴田二等主計▲淺岩一等軍醫 入京中の處二十二日朝退京の豫定
▲馬詰次男氏(東亞煙草理事) 釜山地方へ出張中の處二十一日朝歸京
▲桑田顯藏氏(貴族院議員) 二十日午後入京朝鮮ホテルへ
▲田島武之助氏(貴族院議員) 二十日午後入京朝鮮ホテルへ
▲アビソン氏(セブランス病院長) 二十一日午前內地へ

## 下の關より

大塊

無事上陸致候左に駄句如件(廿日の朝)

島の火夜海の明星秋の時
入船や朝霧薄ぅ島羅列
今朝の秋入船迎ふ旭かな
予を迎ふ我鎮西や山錦

# ■南滿洲の演習終りて

## ▽示威運動ぢやないよ

第十七師團長 星野中將の談

今回の我師團演習は南滿洲北部に於ける日露支三國の勢力の接觸地點に近き野に於て行はれたので或る近眼者は何にか一種のデモストレーションのやうに考へて居るがそれは大變に間違つた話であつて我師團の機動演習は前師團長時代より計畫されたものであつて今年漸く實施する事を得たる次第である地を南滿北地に撰びたるは此の土地の山野の形狀最も演習に適したるに由るのみ他に何等意味はない士氣旺盛にして自然と北滿の野を壓するは誠に會心に堪へざる處だが演習の意味を敷衍し曲解するは愼むべき事である實は最初の豫定は今少し面白い痛快なる演習を行る豫定であつたが兎に角滿洲の現狀は何にかといふと外交上の問題など引惹し易く、又物議の起り易い處であるから或る程度の範圍を越さなかつた云々

## ▽理想的練兵場

十七師團參謀長 上田大佐談

科學の進步發達に伴ひ今後の戰爭が攻防共に益々多數の犧牲者を要求し戰爭の慘禍愈激甚を加へて停止する處を知らざる有樣である要塞戰の慘澹たるは人の皆よく知る處である、が而も一般の人々は未だ多く野戰の如何なるものかを多く知らぬ有樣である殊に

▲大軍ご一處に 會し兩交戰團の運命を一時に決するは常に野戰の結果である、現今の歐洲戰爭に見ても今後の戰爭は悉く大軍を以て大平野に覇を爭ふと云ふ戰爭を豫期して居らなければならぬ殊に小銃機關銃、野砲の進步は一層此の平野戰をして其の優勝劣敗の差を甚大ならしめるわけである今後の戰爭の趨勢斯くの如しとすれば現今の演習には要塞攻擊其他特種の演習以外は曠漠たる

▲大平原に馳逐 して豫め其の兵を練る必要がある此の意味から見て南滿洲北部及び北滿洲は理想的の練兵場である古來滿蒙の地より起る兵馬は南方諸州の兵に比して遙かに强健にして寒苦飢渇に耐へ强行軍に適し長驅して中原を平定したる幾多北强の史實は皆な此の地勢の關係の然らしめる處である今回我十七師團兵の演習は極めて良好の成績を以て無事終了を告げた大平野戰に於ける

▲天候の激變に 對し交通、通信の連絡より衛生狀態に至るまで一點間然する處なき好成績を擧げ得たるは以て我軍隊が曠野の生活に適し非常なる長距離の行軍追擊に對し困苦缺乏の甚だしきに耐へ得て餘りある事を證據立てたるものにして吾々始め一般國民の大いに意を强くする處である

長春城外の地雷爆發（十七日十七師團演習）

## ▽相距る遠し

某將軍の談

今回の演習の最後の日には全師團の兵力を擧げて長春市街の一部を通過し南關に於ける支那兵營附近に於て猛烈なる突擊演習を行ひ同地に於て地雷火爆發演習をも行ふ筈であつたが演習開始の前日我領事館より交涉ありし爲め其の地點等も少からず變更したる次第である

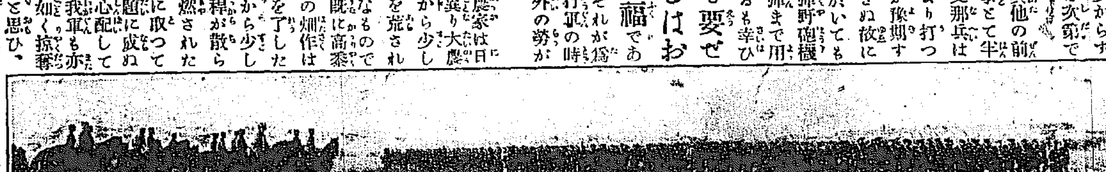
■鄭家屯其他の前例も有る事とて半狂人式の支那兵は何時横合より打つて掛かるか豫期する事が能きぬ故に我軍隊に於いても多數の實彈野砲機關銃の實彈まで用意し居たるも幸ひ一發も要せざりしはお互の幸福であつた、がそれが爲め輸送や行軍の時は、演習以外の勞が有つた

■支那の農家は日本など〻異り大農式であるから少しの位の部分を荒されても平氣なもので ある兎や既に高粱大豆粟等の畑作は全部收穫を了した後であるから少しの位の高粱稈が散らされたり燃されたのは彼等に取つては全く問題に成ぬ

■彼等の心配して居つたは我軍も亦支那兵の如く掠奪するものと思ひ、車馬を隱蔽したり女子供の凌辱强奪せられん事を恐れ避難した者も少くなかつたが演習終了後に於いて彼等も日本兵の支那兵ご相距り相異るの甚だ遠き事を目前に見た事であらう。

■支那の將校と云へば立派な服裝しては居るが其の心情に於ては襤褸服の兵士と少しも異る處は無い演習觀戰武官が奉天及び吉林から三十名も來て初めの內こそ日本の將校兵士と同樣に演習中は行軍露營を共にすると力んで居つたが演習第一日に寒風豪雨に遭易して以來斃に露營などとは云はなくなつた

■鄭家店鄭家屯等に於ける我軍の行動の機敏を缺ぎたる事に就いて在滿の邦人を初め內地に於ても甚だしく批難する者あれど軍隊は凡て命令に依つて活動するものにて命令の遲疑不決定は大いに吾等の行動を沮礙するものにして世人は表面に現はれたる處のみを見て直ちに駐劄軍の機敏ならざるを難ずるは聊か酷である



長春の觀兵式

# ●三南の野 砲聲頻り也

## 第四十旅團演習の第一日

大田を中心とせる步兵第四十旅團管下第七十九聯隊（大田）第八十聯隊（大邱）の對抗演習は地方始ての演習と云ひ特に攻城用重砲の參加ある爲一般の興味を引き居れり從來重砲の演習に參加せしは明治四十年頃大和地方にて行はれし機動大演習由良要塞より參加せしを嚆矢とし殊に朝鮮にては今回を以て第二回目となすより砲戰を開かざるに當局者は勿論聞傳へたる地方民も當日を待ち緊張の意氣沖天に漲れり

▽東軍行動 東軍は步兵第七十九聯隊、騎兵一分隊、野砲兵第一中隊（假設）、獨立重砲兵中隊九珊臼砲二門より成立ち富塚大佐支隊たり司令官は十月十九日夕清州に在りて群山に上陸したる敵の一兵團が論山方面に前進せし報に接し一支隊を芝明場より大田を經て此敵に向て派遣せり其任務は成る可く遠く敵を西方に擊攘するに努め已むを得ざるも大田を確實に掩護せしむるにあり、該支隊は十九日夜半清州を發し廿日朝揚川附近に大休止中敵の一縱隊は昨夜連山論山間に宿營せし確報に接せり

▽支隊命令 十月二十日午前六時三十分揚川支隊本部に於て支隊長の發せし命令左の如し

一敵の一縱隊は昨十九日夜連山論山間に宿營せし確報に接せり
二支隊は敵を擊攘する目的を以て連山に向ひ前進を行せんとす
三第一大隊は前衛となり午前七時出發大田連山街道を前進すべし機關銃隊及び傳騎二を附す
四爾餘の諸隊は本隊となり支隊本部第二第三大隊野砲兵第一中隊獨立重砲兵中隊の順序を以て前衛の後方約五百米突を續行すべし但し通信班は前衛本隊の後尾に在て行進すべし
五大行李は本隊の後方約千五百米突を續行すべし
六予は本隊の先頭を行進す

支隊長 富塚大佐

▽大田出發 一時集中せし支隊は二十日午前十時論山方面に向ひ大田橋を出發せんとし騎兵斥候四騎を先行せしめ敵情を搜索しつ〻進發す道路は七日以降の大水害にて流失破壞し橋梁の流失せるあり急救補修の爲め步むに靴を沒し重砲の兩輪は深く砂に食ひ入り徒水し院川の徒涉は砲兵全隊の盡々躊躇ばかり其傷ましさは遂愴の氣を帶びたり

▽西軍行動 西軍支隊は步兵第八十聯隊、騎兵一小隊（二分隊缺）野砲兵第一中隊（假設）獨立重砲兵中隊（十二珊榴彈砲四門）にて安原大佐支隊長たり西軍司令官は以上の支隊をして大田を占領し京釜鐵道線を遮斷せしむる目的を以て大田に向ひ前進せしむ該支隊は十月十九日夜論山附近に宿營し二十日午前八時頃其の步兵先頭を以て連山に達せり今朝出發後支隊長の得たる情報は敵の一縱隊は昨夜半清州より大田街道上芝明場に於ける軍橋を南下せり京釜鐵道は運轉しつ〻あるも今朝まで大田に敵の下車したる模樣なく湖南鐵道は連山以東に於て所々破壞せられあり此の情報に依りて論山馬九坪の宿舍地を出發する事となり騎兵一小隊を將校斥候となし午前六時出發せしめ步兵一大隊機關銃一小隊野砲兵第一中隊假設を前衛となし爾餘の諸隊を本隊として六時出發す

▽步騎衝突 午前十一時頃東軍騎兵斥候は鎭岑面附近の敵を搜索しつ〻ありたるに鎭岑嶺の頂に敵騎の現はれあるを發見し傳令をして急を小倉中尉に報せしめ尙ほ深く敵情を搜らんと窺ひ居れるを敵騎は知らずして住水院方面に向け疾走せしが小倉中尉の斥候に追擊せられ驚き馬首を廻らし歸隊せんとせしに東軍の騎兵途を要するを知り大迂回し鎭岑西面家屋後方高地に出松林中を縫うて歸隊するを得たり

▽第一砲火 此時既に東軍前衛の步兵斥候及び將校斥候は所々に展開し敵情を搜查しつ〻ありしを以て援護の目的を以て瀧巢洞西方高地に放列を敷ける野砲兵及び獨立重砲兵より第一砲火を西軍に送れり西軍も亦二十分後野砲及び重砲隊をして火蓋を切らしめ澄み渡りたる秋空の寂寞を破り山彥の響大山の崩る〻かと疑はしむ

▽東軍苦戰 東軍は數箇の斥候を派せるも西軍が鎭岑嶺高地を占領せる爲め敵情の詳細を知るに由なく徒らに時を過すのみなりしが東軍支隊長は更に苦心搜索の結果西軍は鎭岑嶺の高地に道路を限り右方高地に一個大隊左方に一個大隊を置き尙ほ一個大隊を豫備隊として中央後方に置き其後方に放列の在るを確めたれば支隊長は全軍に進軍を命じ躍進又躍進鎭岑嶺山麓に到りしが西軍は峻立せる要害の地に據るを以て肉迫するも多大の犧牲を拂はざるべからざる情況なるにより死力を盡して擊攘せんと突擊に移り喊聲四方に起る時『打方止め』の喇叭は後方統監部より起り三千の貔貅皆く劍を收む

# ●浮浪者狩

## 五十四名檢擧

京城鍾路警察署にては二十一日午前五時を期し刑事巡査全部を以て豫て素行等調査をなし置きたる浮浪者狩りを行ひたるが警官七方面に分れ寢込みを襲ひて五十四名を檢擧し同日取調べの上四十七名を拘留處分に附したり

# ●中村學士の遺骨

二十四日夜南大門到着

江原道金剛山內眞珠潭に於て殉職せる故總督府技手中村孝彥氏の遺骸は廿日夜温井里に於て神溪寺の僧侶三名を招き丁重なる供養を營みたる後讀經禮に茶毘に附したる旨同地より報告あり遺骨は二十三日の便船にて元山に上陸二十四日夜南大門驛着汽車にて入京の豫定なれば其の葬儀は多分二十五日執行の事となる可し

# ●罪を耻て自殺

二十日午後三時頃京城齋洞洪炳勳方同居人力車夫崔敬六妻趙姓女（二〇）は自宅温突內にて多量の苦鹽汁を仰ぎて自殺を遂げたり鍾路署より警官出張檢視せしが同人は十九日午前八時頃洪炳勳方より少量の飯を竊取したることを同家の雇人朴姓女に發見せられ之を恥ぢて自殺せしものなりと

# ●兄を相手取る

扶養料二千餘圓請求訴訟

高陽郡龍江面新孔德里朴文煥方居金台源は實兄なる同面東幕上里の金斗源を相手取り扶養料二千四百餘圓の請求訴訟を京城地方法院に提起せり其の訴訟要旨に依れば兄弟は明治十年頃より共同經營にて二十餘年間米穀商及び金貸業を營みて漸次蓄財し兄斗源は目下數萬圓の資財を蓄ふるに至れるが斗源は台源に對し一文の分前をも與へず遂に實家より追放したり然るに台源は目下六十七歲の老齡に達し到底自活の道なく剩さへ一定の住所もなく路頭に迷ひつ〻總てに乞食同樣に其の日を過し居る有樣なるを以て兄弟としての扶養の義務あるものと信じ一箇月の生活費二十圓と見積り向ふ十箇年間合計前記の金額を請求したるものなりと

# ●青年鐵道轢死

十八日午後十時三十分釜山草梁驛着北行列車が同驛を距る南約二丁餘の地點を進行中何者か線路に飛込みたるを認め當驛員を派して線路を檢したるに一名の若者轢死し居るを發見せり携帶品としては革錢入及び手帳洋手拭一本あり下駄は線路外に脫ぎ揃へ其の上に古びたる鼠色鳥打帽一つありて手帳を繰り擴げるに其の中に警察宛に死後の措置を賴む旨記したる箇所ありて決意の自殺なる事は疑ふ餘地なく其の先きに大阪市南區鰻谷仲之町三十番山本房吉方山本隆造（三二）と記しあり而して十七日附の檢疫證明書を所持し居れり此れにより察するに內地より渡鮮し來りたるも就職口なく生活に窮し斯くは厭世の結果自殺を計りし者ならんと因に死體は引取人なきより釜山府廳へ引渡し假埋葬に附したりと（釜山）

# コレラ彙報

## ▲疑似二十六名

十九日より二十日にかけ全南靈光郡靈山面洞頭里に二十六名の疑似虎疫患者發生し內七名は既に死亡したり目下所轄靈光署より警官多數出張し嚴重に防疫中なるが數日前麗水より歸著せる帆船ありと云へば多分其の帆船が病毒を傳播したるものならんと右に就き木浦警察署は直に管轄區域中發生地と最も近接せる海際面道里浦の渡船場を閉鎖し渡船は陸上荷沿岸一帶に引揚げて發生地との交通を嚴禁し警戒線を張りて警戒中（木浦）

## ▲釜山新患者

釜山に於ける虎列拉は初發以來十九日迄累計六十二名に達せり其の中內地人は三十六名にして沿岸の漁夫多數を占め釜山市內より發生せし者殆んど無し又鮮人側にては本月十五日迄ポツ〳〵患者の發生を見たりしが十六日に至り突然草梁驛仙洞坂の下鮮人部落に十六名發生して以來同部落には稍蔓延の兆あり日鮮人を通じて十七日五名十八日六名十九日九名の新患者を發生したり其他日鮮人の菌保有者二十四名を收容せり（釜山）

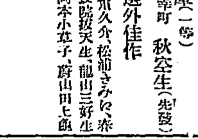
## 讀者文藝（一等に手拭…）

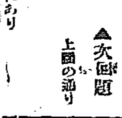
▽謎

格納庫（一等） 平壤寺町 秋空生（先發）

▲選外佳作

京城利貞久介、松浦きみ、秦殘、島致陽、披天生、龍山三好生、龍山 岡本小草子、蔚山田上…子





▲次回題 上圖の通り

■題及び選者…定は欄外にあり

（謎俳 文藝）課題及募集規程

■俳句■ △題 柿 子と掛けて…廿一日…[illegible]

■募集規程 △用紙は端書又は罫…の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名…の事 △賞品は…[illegible]

●土地係爭事件 原告滿洲窪田、秀島兩氏及び前田辯護士より[illegible]藩主宗重望伯被告釜山伊藤茂吉外二十二名に係る釜山西部土地所有權確認[illegible]の上鈴木裁判長は[illegible]申請し置きたる證人前田盛三等出廷[illegible]の後兩訴訟代理人より別に證人野中義助の喚問を申請したるに裁判長は[illegible]之を採用する事[illegible]

外人六名 二等（十八名）松本理作、梁重元、久芳てふ、同ひさ、中村昭、外二名、米本重太郎、永井重郎、島本慶太、工藤政吉、江口たけ、同ふみ、梅本…[illegible] 三等（五十四名）[illegible] 仙…檢疫所停留者三十名なり

天氣 は 晴れ 十月廿一日（廿二日午後六時迄）[illegible]


文藝倶樂部增刊 十月十五日發行 定價廿八錢

改談五人娘

五名人の五大長講

■水茶屋のお花（大岡捌き）……一龍齋貞山
■狸の娘（落語）……柳家小さん
■因果おとみ（旧淵捌き）……神田伯山
■腰元お梅（人情噺）……三遊亭圓右
■小町おたみ（大岡捌き）……錦城齋典山
■龍眠錄（腰元）……思案外史
■藝界不料簡揃……岡鬼太郎
△栗と松茸……清 秋 雁
△御頭萬牛の胃……松居 松葉
△落語落馬頭……下山 札
■大正茶目傳……あうたう
■新變痴氣論……海賀變哲
△新らしい怪談……水島 爾保布
△陸釣の趣味……樂 太郎
△湯屋床屋比較哲學……秋 浪人
■腕……生田 蝶介
■新作 當世玄冶店……森 曉紅

東京日本橋本町 博文館 振替東京二番 電話本局二〇



●秋になり一層必要なアルボース



就職容易收入多大 而も修業頗簡易也

自動車運轉手 養成

自働車運轉手ほど愉快で文明的な職業は少ない而かも收入中々多く內地にては普通月收四五十圓位多きは其の三倍四倍に達するものもある殊に海外では二百五十圓位が普通である斯程の好職業も學ぶべき道を以てせば修業頗る易々僅に半年前後の研究にて足る內に外せば提なる成功を得んとする士は速に自働車運轉手たれ

本會は多大の苦心と深甚なる考慮を以て養成の事業を完成したり其組織施設の完き既に定評あり本會卒業の士にして有名なる自動車會社工場に就職せしもの多く其の成績頗る良好にして自動車界益々隆盛ならんとする秋に歡迎せられつ〻あり今や絶好の機會也詳細は本會へ照會せらるべし直ちに詳細を記したる本會機關を送る

東京市京橋區南紺屋町二四 發動機協會 振替口座東京二一三一三



米國ニユーホーム會社製

◎裁縫ミシン

安くて體裁好く而も簡便 何れの家庭にも必要なり

約八十個を限り破格廉價にて販賣す

全部御買取の方には特に安價御相談に應ず

仁川本町三丁目 世昌洋行



明治公債株式會社 朝鮮支部

有給社員募集

京城黃金町

釜山幸町、釜山山幸町、大邱東城町、太田榮町、群山曙町、平壤本町、元山仲町、清津敷島町、咸興大和町、木浦大成洞

朝鮮支部事務所、釜山外出張所、大邱出張所、太田出張所、群山出張所、平壤出張所、元山出張所、清津出張所、咸興派出張所、木浦派出張所

日午前十時半より釜山地方法院民事の事實調べを行ひた法廷に於て鈴木裁判長陪席田尻判事……郡判事の係りにて開廷訴訟代理人……は頗る複雑を極め居るも裁判官と證人との問答は簡單に終りて證人退廷

## 女學校生徒の山登り
### 頬冠りをして金剛杖突いて

京城高等女學校の一二年生三百五十名は廿一日の土曜日を白岳に登つた南山の校庭を出たのは午前八時過ぎ途を北門にとつて、それから城壁づたひに絶巓に攀ぢた、頂きに着いたのは午前十時廿分一時間休憩の上お辨當を開いた、山の上からは秋晴れの京城全市を始め遠く南漢山や漢江の流れも見ねて一同何れもうれし相であつた、歸りは東に廻つて肅靜門から東小門に出たが一人の落伍者もなく一同なか／＼の元氣であつた、殊に生徒各自は金剛杖と手拭の姉さんかぶりもかひ／＼しく草履の脚には鼻緒ずれさいなかつたとてこれからは毎月一回宛山登りをすると意氣込むで居た

## 朝鮮の山野は 銃獵家の樂園
### 英國領事の遠征

朝鮮の狩獵界も昨今なか／＼の盛況で殊に京城附近は京元線、京義線、京釜線方面に遠征する人が尠なくない秋の□水禽類は春のものほどに多く捕れぬが昨今は鴫獵を了つて雉子獵の時季に入つた、今年は雨の爲めに雛の巣立ちが氣遣はれたがさて秋になつて見ると何處にも隨分居るらしい、殊にこれからは畑の大豆や畓の稻が刈り取られて田畑の□雉子は皆林や丘に逃げのびるから日頃の腕前を試みるのも此の頃である水原邊の人に訊くと昨今は何うも雉子の數が減りました、午前中から出かけても一羽もとれぬ場合が度々ありますとの事であるがそれでも京元、京義線には多いらしい、內地からの銃獵者は毎年の例により彌々□渡鮮する時分であるから神戸の範多商會主は先日來入京方々に雉子獵を試みて居る、その他鍋島直映氏、横濱の英國領事デピンン氏、日向の鶴田病院長などの好獵家も近く愛犬を伴れて入京の筈、京城の□天狗連には和田ドクトルの仲間が二十二日朝から開城に出かけるのと、京城電氣會社の人々が金村方面に遠征するのと、鐵道局の人々が京釜線の□各驛に出獵するのと何れもなか／＼の意氣込みであるが此の他個人々々に抜け駈の功名を樹てる人も多いとであらう

## 織物の陳列會
### 恩賜授産機業場にて

京城恩賜授産機業場にては本年四月以來の製造になれる機織品約三千五百點の陳列會を擧行することゝなり二十一日は山縣政務總監初め松永長官、小松翰長、高橋武官、金谷府尹、有賀、石原、東田の各事務官、遠藤秘書官等諸氏の觀覽ありたるが廿二日午前十時より五時迄の間に於て一般の觀覽に供することゝなりたり觀覽者に對しては豫め招待券を發したる樣なれども招待券の有無に拘らず廣く一般の觀覽を希望し出品物は全部當日卽賣する由織物は內地人向としては木綿又は絹綿交織の縞物五百反を始め羽二重五十反油團地等にして外に端切れもの等あり鮮人向の品も千五百反ありて賣價は一般市價に比し平均二割方安値のもの多く加ふるに品質と染色の點に於ては實用品として最も適當のもの多しと

## 在鄉軍人射擊大會

在鄉軍人京城分會射擊大會は十月二十二日午前九時より龍山練兵場に於て擧行の筈なるが同會員は其の數二千に餘れるも大會の出席者は毎年極めて少數にて甚だ不振の觀あり、本年は何れも奮つて來會す可く又た一般觀覽者をも歡迎する由

◉貧民の救助　釜山草梁洞阪の下鮮人部落に虎疫侵入し日々新患者發生するより其筋にては五十二戸の交通遮斷を行ひたるが同區域內には貧しき鮮人多き爲め草梁區長李圭直の兩氏より各白米五斗宛を寄附せりと(釜山)

### 會のいろ／＼

○京城基督敎會(南米倉町) 廿二日午前十時より高井文學士の『靈魂不滅論』なる說敎あり
○神理敎會所(南山町三) 二十二日午後七時より月次祭執行式後說敎あり
○メソヂスト敎會(南大門通三) 十月二十二日午後二時より鎌井說敎『ヘルモン山の遠近』……同夜八時より旭町二丁目牧師館にて禁酒會……小西篤太郎……人格修養講話……
○龍山日本基督敎會(漢江通) 二十二日午前十時より日曜學校同十時より禮拜說敎……同く午後七時半より傳道說敎
○日本基督敎會(長谷川町) 二十二日午前八時四十分より日曜學校同十時より禮拜說敎堀內牧師の『眞實の心』同く午後七時半より同牧師の『……の使命』あり

### 神社とお寺と敎會

○西本願寺(若草町) 二十二日午後九時より日曜學校あり……
○東本願寺(南山町) 二十一日午後一時より土曜講話あり……
○開敎院(本町三) 二十一日午後二時及び十時より……
○妙心寺(長沙洞) 二十三日午後九時より……

△かつを煮とり　なまりぶしを木口にほがして酒三分味淋七分の割合にて煮立てたる中に生姜のせん切りを入れて三四回煮立てたる中へ入れ煮汁の半分位になるまで煮つめ鍋を火よりおろして其まゝ落しぶたをして五六時間置き後盛りつけて汁をふくめ置き後盛りつける(青木はつ子)

白岳登り　先生の仰しやるには『皆さん、頬冠りなさい、日に燒けません、髮が壞れませんし、それから蜘蛛の巢がつきません、杖は元氣よくおつきなさい、お婆さんのやうについちやいけません』　二十一日午前十時

# 商況

東京株式特電　諸株爆發す
東京債券現物特電
京東公債直取引
深川在米特電
東京期米特電
大阪株式特電
大阪三品特電
大阪期米特電
下關期米特電

雜報

◉鍋釜類好況　本品は銑鐵類昂騰の影響によりて先般來漸次價格の騰貴を告げつゝあるも製造者側に於ては常に不引合を唱へて製造を手控へ來りし結果此度時期を迎へたるに拘はらず入荷極めて少なし當業者に於ても此際次第に値段を騰上げ移入を計りつゝある爲め鼓許本品類の市價も漸騰を續け居れり昨今にては京城釜三十三四圓新製釜四十三圓ならんと

◉約四割高に小形物は一層割高を持せり賣行きは値高に關せず頗る良好にして昨年當時より遙かに賣行き數量多しと

◉平板更に氣強し　平板は其後强硬の裡に持合ひの姿なるが阪神市場に於ては益々在荷缺乏の模樣にて殊に平板の如きは大阪市中の當業者中に於て最近更に五六錢高の氣配を齎せり鼓許も遂に此處强狀を呈し居れるが併し相當高値に達せる折柄とて相場は上値み居れり

◉ブラシ毛類好況　本品類は需要季節に入りし事とて各品共に賣行引締りを見せ居れるが殊に歐洲市場に於ける輸出旺盛を極め産地支那市場にては暴騰を演じつゝありと

◉精白は軟調　精白は前報後ずり／＼小弛み歩調にて昨今の地場は十四圓七八十錢　引下げを見るに至るべし

下關相場

△朝鮮白米は保合　其後百叺の廻着に過ぎざるのみならず內地期米も好調に連れ米主何れも安くは手放し難たる風情ゆへ……

京城正米
南大門の廻穀

◉綿布益々高氣構　大阪綿布相場は二十日午前小安き入電なりしが午後に至り跳返し七錢高の報シー現物六圓三十五錢を報ずるに至れり……

◉粗布類　……

◉細布　……

◉綿糸は强硬 値上を行ふ　二十錢方內定ぜりと

仁川現物市場
仁川白米一五〇叺　島致院白　三〇叺　島致院小豆一四叺
△籾　入津五六百俵　氣配は引締き强人氣を唱へ居れり
△正米　入津少なし　氣配は依然高模樣との事
△大豆　入津なし
△小麥　入津なし

釜山穀物市場　二十日
△正米(變らず)　……

仁川期米
二十一日前場　大阪天候晴天
前寄十五圓二十三錢と昨止より一錢安入電二節二十二錢
大阪五節二……

十錢と高移り

市場雜聞
△保合小堅し
△前場の手振
△能く賣る
△全能く買ふ
△要能く買ふ
△展開未だし
△稍閑散を感じ

期米前途觀
月末に際し一變動
裏面の喰ひ合ひは優に十萬石以上
將た解合か何れは乘替
强弱兩者の鬪
十一月限の仕込

仁川米豆取引所　二十一日の十一月限

鐘紡株
東洋製糖株
北濱だより

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 支配人土居 電二八二番 圓二八三番

仁川米豆取引所仲買人 利 仲買店 電話長九〇五番

田中金二郎商店

## 演藝案內

浪花館　明治町　電話二六〇　○東都女流浪界之大關桃中軒桃子改め日の本三都子嬢來る今晩の讀物△武道の譽れ(武雄)△生の失敗(桃右衛門)△後藤三八記講二席(神田伯猿)△五郎正宗(日本三都子嬢)毎夜正六時半開演

有樂館の大勉強　活動寫眞の新フヰルム　舊劇 鞍馬八郎(全三卷)　新派悲劇 觀音岩(全三卷)　奇術應用水藝の元祖 實演 吉田菊五郎　今廿一日より同廿五日迄吉田菊五郎の御名殘興行として普通興行に復し新襲及び新寫眞差替え御高覽に供す　一等三十錢 二等二十錢 三等十錢 小人各等半額

有樂館　本町一丁目　電話二六六

大正館　櫻井町　電話八七三

黃金館　電話一八五二

被服拂下公告
一、絨衣外拾貳點
希望者ハ十月廿五日迄當隊ニ就キ承知ノ上十月廿六日午前十時入札事
十月十九日　京城憲兵隊


◉發明品特約店募集
△巨利の獨占を欲すれば此廣告を見落すなかれ▼
內外有利特許品及新案新百貨の魁を地方に直賣すべく各地市郡に店を急設す本業若くは副業と而も最確實有利の地方事業也希望者返券參錢封入申込次第商品目錄規則進呈◉出願中の特許品買込方特別便利御引受申候
電話京橋二三九◉振東七二〇◉東京京橋木挽町◉日本發明株式會社

大正六年御壽寶
大正六年農家曆
募集
愈々出たり明年の稻作麥養蠶豊凶國家及各人運氣方位毎月吉凶年中必要五十餘種○農家曆は天候農事改良各種米糸株各高低表及賣買方針等あり毎年諸商店より歳暮年玉用に數千の注文あり月迄毎月五十圓以上收益あり特約販賣望む人一冊購求の上照會次第販賣名法迄る
一冊定價金拾五錢 郵税共
一冊定價金拾五錢 郵税共
東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

都山流 尺八音譜
△三の景色 二十錢
△嵯峨の秋 二十錢
△今小町 廿五錢
△青柳 三十錢
(送料二錢)
大阪 前川 合名會社 大阪鹽町三丁目

旅獵の好機
來れり諸般の準備整ふ
陸續御光來の程
投宿御希望上候
京義線新幕驛前
御旅館 甲陽館
新穀買易並委託品賣買
小澤秀

攝陽灘御影町
鳥井本店醸造
清酒 醇良
京城南大門通三丁目 特約店 鍋島宇吉商店
冷卸發賣

舶來ストーブ新荷著
奉天製胴張ストーブ
京城本町二丁目 釘本藤次郎本店
振替京城二五六番 電長二七七四五番

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥 賣藥 卸問屋
醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、に市内配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天祐堂 藥品部 器械部
電話

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇・一〇八番

# 宮本武藏

第百九十三回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

曉雲是を聞いて 曉『何にお前達ば山賊ではない大勝田山村の百姓だと』○『然うでがす』曉『其の堅氣の百姓が何で夜中這麼山の中に焚火をして見張つて居るのだ、見れば弓鐵砲などを持て中には長刀などを帶して居る者もある、眼が光つて何う見ても山賊面に見える』○『何だ此奴、山賊面だ、其麼面があるか、弓鐵砲を持て居るのは他でもねえ此の山へ山賊が出るのだ、乃で御領主様から吩咐つて近郷の村々が交代で山番をするのだ、今夜は俺共の村方の者が番に當つたから此處へ來て張番をして居るのだ、お前方は水澤から來て勞れたといふから、茶を飲して休ませて遣つたを有難ねとも思はねで俺共のことを山賊だなぞと吐し居る、堅氣の百姓が賊と云はれては勘辨ならねえ』曉『イヤ是はしくじつた、盜人に焚火は附きもの、焚火をして弓鐵砲を持て居るから山賊と思つたが、聞いて見れば堅氣の百姓、とんだ間違ひである勘辨をしておくれ』○『イヤならねえ、此の上は出る處へ出て處置をつけて貰ふべえ』曉『それでは何うしても勘辨は出來ないといふのか』○『然うだとも、勘辨は出來ねえ、是からお前達は船岡の郡奉行のお役宅へ引張つて行くから然う思ひなせえ』曉『間違ひといふはあるものだ、間違ひだから勘辨をしてくれと云ふに肯かなければ仕方がない、何處へでも伴れて行くが宜い』○『オー伴れて行くとも、さア皆で此の人達を船岡まで引立て行くのだ』と十二三人で周圍を取巻たが、行くまいと思へば側には二天も居るし二人で叩き散せは譯は無いのだが、何と思つたか 曉『コレ二天、決して手暴いことをしてはならんよ、此の人達の云ふに任せて船岡へ引れて行つて見やう、郡奉行が何ういふ調べ方をするか是も一興、一緒に行つておくれ』二『ハイ』と云つたが餘り興にもなりません、乃で勝田山村の百姓共十二三人でグル〳〵と二人を取巻き十三峠を下つて參りまする、船岡へ入ると夜が明けた、郡奉行遠藤權右衛門の役宅へ引いて參り ○『お願ひでございます』△『何だ』○『俺共は大勝田山村の者でございます、昨晩十三峠へ張番をいたしました處此の二人が俺共へ不禮を働きましたから宜しく御理解を願ひたいと存じてお願ひ申しに出でました』△『何だ、此の者共は』○『ヘエー、江戸の者だと云ふことですが、何だか儒者だとか畫工だとか申しました』△『暫く控へて居なさい』と奥へ參つて告げたが、此方へ通せと門番が案内をして一同を調所へ通して置く、暫くすると郡奉行遠藤權右衛門其處へ立出 權『コリヤ大勝田山村百姓共』○『ヘエ』權『願ひの趣は聞取り遣はす、何事であるか其處にて申せ』○『ヘエ、有難うございます、私共が昨晩山番をいたして居りまする處へ此の二人が參りまして茶をくれ湯をくれと種々なことを申し煙草なぞを喫み暫く休息をした上に手前共のことを山賊だ、盜人だと申します、憚りながら堅氣の百姓でございます、泥棒と云はれちやア勘辨が出來ません、それのみならず、お前達は弓鐵砲などを持ち、長い刀を帶して居て眼は光つて色ほ眞黒、何奴も此奴も泥棒面だと申します、何うも勘辨の出來ません、まことに心得違ひをした兇してくれと詫をする樣に御理解を願ひとうございます』權『ウン左樣か、然し間違いであらうから是に於て奉行が此の者共へ理解を說て聞せる、恐入つたと詫入つたら勘辨をして遣はせ』○『ヘエー』權『コリヤ兩人面を上げろ』曉『ハイ』權『其方共は江戸の者だと申すが、名前は何と申し職業は何である』曉『手前は曉雲と申す儒者でございます、此の者は二天と申す畫工でございます』權『何に儒者に畫工か、他人に物を敎へ其の道を諭す者が年甲斐もなく他人のことを賊と申して仔細ないと思ふか、然し間違ひとあらはいたし方がない、奉行目の前に於て一言彼等へ謝します樣、何うじや

石鹼化粧品 婦人小間物 卸商
月本政次郎商店
京城明治町二丁目 電話二二八番

花柳病 皮膚病 須古醫院
京城府永樂町一（商品陳列館通坂の上）電話二一〇二番

京城旭町一丁目四番地（旭町上る左へ入る）
外科 花柳病 皮膚科 耳鼻科
内科 咽喉科
島崎病院
電話二七三六番
診察夜九時迄 院長 醫學士 島崎龍一
手術室新設、隔離室、普通室 病室設備 入院隨意

明治町ヤソ教會前
岡村介石易斷本部
岡村介石易斷支部
新龍山郵便局前


十月廿三日九星
舊九月廿七日癸巳
本命四緑 說危 大安

▲四緑● 富ての遡れる事有る日 新事見合北方は吉 貯蓄▲五黃● 遠方もなき喜有る日 新事手控 舊事継續は妨なし▲六白● 平運の日 午前不印午後は吉 新事手控 舊事は吉 買物に用心せらるべし▲七赤● 間の非なき事有日 新事手控 舊事は吉 ▲八白● 力身損の事有日 新事手控 舊事は吉 何事も散財を防がるべし▲九紫● 親事有日 轉居 入門 金談 名弘 求職 建前 婚姻 火 力利用 業等萬吉▲一白● 平運の日 轉居 開業 旅行 入學 求職 金談 婚禮 試驗を受る等萬吉▲二黑● 輕微の寄有り 新事手控 舊事は吉 保證 調印等せぬがよし▲三碧● 趣味 津々たる日 轉居 入門 金件 名弘 求職 井戸掘 出漁 藝術 建築等萬吉


タンを去るキ・セ・呼呼り法す治を
かゝる時 偉効あり
□せき出で眠られぬ人
□たんに血の交る人
□聲潤れ出でざる人
□のんど腫れ痛む人
□息苦しく胸痛む人
□タンセキ切れ難き人
價十錢、十五錢、三十錢 全國到る處に販賣す
呼吸器散
呼吸器丸
本鋪 丹平商會
呼吸器病に苦む人よ
本劑を一週間程試よ タンを去りセキを和げ胸苦を和げ夜分安眠の效を奏する高貴藥也

尺八樂譜解說 一部十錢 郵税二錢
尺八樂譜 要郵税二錢
東京小石川區大和町 尺八敎授 水野呂雪

八木田醫學博士御處方
島田藥學博士御鑑査
強胃消化錠
最新式膵臓錠劑
本劑の特色
二博士の御盡力の下でゲンは新式胃病藥であり其の卓效は根本的に胃の機能を整へ消化作用を促進させ食慾を増し胃の弱い方にも著しく效きます
大阪市東區上本町五丁目
田畑保證房
八木田博士御處方
島田博士御鑑査
アナタの胃病はマーゲンで治る

らい病
妙藥 數取 手二錢 送れ
大阪府西成郡西浜水町四九 山田光治郎

わきが 治療 好期
全快
實驗
新刊療法解說書全部實驗集無代呈す

月やく
藥妙知らす
京城黃金町三丁目に御照會あれ
山田志づゑ
なきに御困りの方は郵券二錢封入た

鼻緒製造 內職
東京市下谷區中根岸町八十一
（振替東京三一二〇四番）
吉川合資會社 鼻緒工場
下駄の鼻緒は日用品にて販路廣大なれば確實有望事業なり男女共自宅で出來仕事簡易にて練習次第一日三四十錢の利益あり小資本にて就職され年中仕事あり製品は取引す詳細の製造案內及見本等は切手十二錢で送る

今が一番恐ろしい病氣に罹りやすい時です──少し怪しいと思つたらスグ弊店へ
京城本町二丁目角
古城賛化堂
電話一〇二番 振替七三七番



百人が百人にこもよいのはないコンナお喜びになる
薄化粧料
白色美顔水

婦人界の人氣物

▲此頃の婦人方は一般にお化粧が上手で大概は極く自然な、地からの色のやうな、極めて感じのよい美しいお化粧をして居られますが併し中には未だ相變らず舊式の不完全なお化粧をして居られる方がありますのは美容上、衛生上、誠に遺憾な事であります

▲舊式のお化粧ですと、一旦白粉を附けて洗落して復附けるといふ樣な手數を懸けながら、平生色の黑い方は白粉がごす黑く見え、厚く附ければ白ペンキの樣になり、薄くすればムラになつたり見苦しい色になつたりするばかりで、ほんとうに美しいお化粧が出來ませんので、毎もお化粧といふと大變な苦勞をなさるのですが、でも然ういふ方でも一度

▲專門學者の手で創製されて、今非常な人氣になつてる白色美顔水でお化粧して御覽なさいまし。それこそ甚麼方にも上品な、ムラ等の無い、生れつき色の白い樣な、何とも言へぬ美しいお化粧が出來、それが亦頗る勞なく氣持よく出來るのです。此頃の

▲お化粧上手と言はれる方々は皆この白色美顔水をお用ひになるのであの樣にお化粧が出來るのです。白色美顔水は日本唯一の化粧品研究所たる桃谷研究試驗部の二博士三學士の研究で創製されたもので、普通の水白粉のやうに水と白粉とを混ぜた樣なものでは無く

▲新に發見した從來の化粧品に使はれた事の無い、美容上の効果の最も強い美容素と、數種の貴重な原料を含む美容液とを以て、或特種の白粉を溶解して製したものでありますから、薄化粧料と美容料との作用を完全に兼備へて、少しも態とらしくなく、活々した光澤、生れつきのやうな色、誠に氣品のあるほんとうに美しいお化粧が出來ると共に、續けて使へば次第に生地まで美しくなる作用のある、眞に完全な新しい薄化粧料なのです。ですから此品は同じ試驗部製の美顔白粉、美顔ユーマー美顔水と共に

▲各宮家御用品として畏き方々の御間にも御賞用を賜つて居ります。今東京で高貴方の御信用の厚い美容術大家マリールウキズ孃が此品を高貴方に推薦せられたのも、嚴密な御試驗の結果、是等の効果を認められたからで、今や白色美顔水の人氣は益々高く日本一の薄化粧料として、何處へ行ても

▲第一位の賣行を示してゐます。此頃の婦人方で此品を御存知なき方は御座いますまいが、若し未だお用ひのなき方は、今の中早くお試しになつて。學者の發見がどれ程完全なものであるか御實驗なさいまし。お化粧が何うも思ふやうに行かぬなどいふ御歎きは忽ち夢の樣にお忘になつて終ひます

定價 一瓶 金二十錢

2070,145-10



りん病 ばい毒 專門藥房
吾が社は天下に名の有るりん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります、而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、只世界の有りと有らゆる淋病黴毒藥の長所を取つて藥味及び製法に間斷無く改良を加へて行くからであります、吾が社は他の如何なる淋病、梅毒藥とでも効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は本月拾日の京城日報御覧、近頃各地に偽ドラッグ續出せり御注意を乞ふ
りん病藥一週間分普通武圓特製參圓 送費十二錢
ばい毒藥一週間分普通武圓拾錢特製武圓 引換送費廿壹錢
京城南大門外停車場通り
ドラッグ商會 淺鮮本邦
電話 二五六七番 振替京城四六七番
本舗 大阪 合資會社 ドラッグ商會

# 京城日報

廿二日朝刊 夕刊と合せて八頁

## 京城論壇

# 朝鮮窯業の將來

京城工業専門學校教授 海福紀一

朝鮮の窯業は高麗燒新羅燒[illegible]等の如き歷史的の美術品若くは骨董品として有名であるが、殊に識者の間には朝鮮に於ける最も有利にして且つ有望なる一個の產業として必ず發達すべき未來を有するものと見做されて居つた。中央試驗所に於ても、夙に此點に注目して、從來窯業の盛んなりし地方に就き歷史的の研究を爲すと同時に全道に亘りて原料分布の狀態を調査して居つたのであるが最近に於て略ぼ大體の調査を了し、其結果に依ると、從來歷史的に窯業の盛なりし地として知られたる地方が必ずしも將來一層發展すべき條件を具備して居るといふ譯ではないが、寧ろ一地方といふよりも、全朝鮮に亙つて、各種の原料が豊富に分布されて居つて、前途の甚だ有望であることを確め得たのである。當初朝鮮の窯業に就いて調査研究に着手した際に於ては、現に年々夥しき多額の移入を見つゝある内地の陶磁器に對して、朝鮮の原料を用ひ朝鮮に於て製造したる陶磁器を以て對抗し、其移入を防止したいものであるといふことを最後の標的として發足したのであつたけれども、各方面の調査の結果は、當初の想像以上に甚だしく有望であつて、到底單に移入を防止したるのみを以て滿足することを得ず、更に進んで輸移出をも計りたいといふ大なる希望を抱くに至つたのである。之は單に希望のみでなく、實際に於て斯くあらんことを欲し又あり得べき事と信ずるのである。現在朝鮮に於て一年に何程の陶磁器類が用ひられるかと云ふことは不明であるけれども、稅關の報告に依れば大正四年度に於て内地から約四十萬圓の莫大なる移入を見て居る。故に將來窯業が盛んに朝鮮に起つて、製品が市場に行渡る樣になれば、内地品に比して、少なくとも其運賃と破損の損額と丈けを差引いて割安に需要に應じ得るといふ有利な狀態に在る譯である。中央試驗所に於ても最初の目的が移入防止にありたる爲め設備の如きも、それ相當の設備を爲して、試驗し來りたる有樣であるが、調査の結果上述の如く有望であることが明となつたから今後は一層擴張して大工場にも適應し得べき試驗を實行するに必要な設備を爲さねばならぬ時期が到來して居るのである。

原料の豊富なる點より見て、朝鮮窯業の前途の甚だ有望なることは略ぼ前述の如くであるけれども、朝鮮の輸入を防止し進んで輸移出を爲すの盛況を呈せしむる迄に盛大に事業の勃興を圖らんが爲めには、事業計畫者は先づ少くとも下の如き事項に就いては十分の研究と考慮とを要する次第であらうと思ふのである。第一には何地は有名な窯業地であつたといふ樣な漠然たる歷史的の事實に因はれないことである。如何となれば朝鮮の昔から窯業地として知られたる土地は必ずしも今日適當の土地でない。換言すれば今後有利に發達すべき條件を具有して居ない所がある。例へば京畿道汾院の如き江原道の楊口の如き、平安南道の馬山洞（平壤より五里）の如き、或は原料が其附近に產せずして之を遠方より運搬し來るとか、或は交通不便にして製品の搬出燃料の供給に手數を要するといふ樣な缺點を有して居る。第二には工場を設くべき地點の選定である。之は如何なる工業に就いても共通の重大要件であるが、窯業の立場からして殊に重要であるといふことを言を強めて置きたいのである。即ち工場設立地たるべき要件は交通機關の最も便利なる所であつて、其の附近に原料及び燃料たる石炭を產出し職工を得るに容易であれば申分ないのであるが、原料燃料の運搬に便利でさへあれば先づ以て甚だしい不利は免れることが出來るのである。此點に於ては單り朝鮮ばかりでなく、内地の窯業地として知られたる、九谷、薩摩或は肥前、河内三河内等昔時より有名なる陶磁器を產出したる地方等でも何れも此要件を欠いて居る爲めに、現に甚だ不利益なる狀態に陷つて、當業者は苦心慘澹し爲めに往時の如き盛況を呈すること能はざる實例がある。然し乍ら之は創業の由來が當然此所に到達する樣に導かれてあつたのであるから今更致方がないと申すより外はないのである。乃ち此等は封建時代の遺物であつて地方の制度や交通機關の全然改まつた今日に於ては自然的に陶業地として有利なる條件を缺くに至つたのである。但し唯一つ金澤の日本硬質陶器會社が原料燃料共に之を九州地方から供給を仰がなければならぬ樣な不利なる地點に工場の設立を爲したるは誰も直に不審の感を起すのであるが、之は前田侯等が其舊藩地である金澤市を永久に繁榮せしめんとする方策より出たるものであつて土地の不便なるが如きは顧みずして設立したものであるから之は變例外といふべきである。第三には資本を相當に投じて大仕懸に經營するにあらざれば、十分に目的を達し得ないことである。小規模では單價の安い品物を多量に作ることが出來ない。又盛んに輸出でも計畫するといふからは、カタログを作つて、其番號に依つて注文を受ければ、同一の品物を何千個何萬個でも製造して取揃へることが出來る樣にして置かなければならぬ。それには、從來の手先を以て轆轤を廻して、一ツ一ツ埋を作る樣な間緩いことでは間に合はぬ。且又之では正確な形のものを作り得ぬ。乃ち動力を用ゐ機械を完備して手間を省いて且つ正確な形狀のものを盛んに製造しなければならぬ。大仕懸なる經營を要するといふのは此故である。然し之は一片の理論に止るにあらずして、事業の盛大に赴くに從つて必然的に此所に歸著するのである。現に名古屋、金澤、京都に於ては大仕懸の會社組織の工場に依つて統一せられ從來の小規模の經營者は漸次自滅の狀態に陷りつゝあるは其實例である。然し今日の朝鮮に於て急激に全部を大工場組織にして經營せねばならぬといふ譯ではない。乃ち大工場を必要とするは前述の如くであるが、一方朝鮮人向きの食器の如きは今日迄各地に點在して居る工場を成る可く集合せしめ之を統一し改良を計ることが目下の急務で、輸出品を製作する工場とは全然別方面の製品を作るものなれば其指導經營共に宜しきを得れば充分有利に進くことも出來るのであつて移入品防止の助となることを得るであらう。

以上は極めて大體に過ぎないのであるが要するに朝鮮に於て、天然に豊富なる原料を用ひ、適當の地を撰定して相當の資金を投じ、進歩したる經營方法を以て窯業を起すにおいては單に朝鮮内の需要を充すに止らず、海外の市場に供給して有望なるべきを疑はないのである。品質を精撰し、價格を低廉にすることが出來さへすれば、海外販路の如きは、之を開くの道は比較的容易なるべく、例へば支那の如き朝鮮は最も形勝の位置を占めて居るのであるから、支那人の嗜好等を研究して輸出を計れば支那のみでも、可なり多額の輸出を見ることが出來やうと思はれる。其他露西亞南洋方面へ内地より輸出した陶磁器は本年一月より七月迄に五百萬圓を過ぎ、現に硬質陶器等は引受けた注文額の半分も出來ぬ有樣である。朝鮮の產業殊に工業は現在に於ては殆ど見るべきものがないと云つてもよい位であつて、各方面に有望なる事業が横はつて居ることゝ思はれるが、此窯業の如きも、有望なる工業中の重なる一なりと信じ、資本家の眞面目なる計畫の起らんことを希望して止まざる次第である。

# 新舊の總督

小松翰長談

今回寺内伯は朝鮮總督より内閣總理大臣に榮轉し、長谷川元帥新たに朝鮮總督に親任せられたり。一は祝して送るべく、他は歡びて迎ふべき理由あり。寺内長谷川兩氏共に伯爵にして元帥たり。其の聲望も亦相均し、唯其の性格に於て幾分か相異るものなきに非ず。而して其の

△相異なる性格 こそ創業と守成との任務を分つに於て最も適切なりと見るべけれ。故に當初に於て寺内伯總督となり、今日に至り長谷川伯の之に代はれるは朝鮮統治の進捗上幸慶之に過ぎずと謂ふべし。顧みれば寺内伯の初めて朝鮮に來られしは明治四十三年七月二十三日にして、其の著任後未だ一箇月ならざるに早くも朝鮮併合の偉業を成就せられたり。而して之を實行するに方りては、單に條約の明文と、併合後に於ける整理方針とを開示したるに止まり、復た樽俎折衝の煩を須ひず、當時の韓廷も亦直に之に承服して何等の特種要求を提起せず、數千年の懸案眞に一週間を出でずして解決せり。即ち八月十六日を以て談判を開始し、同月二十二日を以て

△併合條約に調印 せられたり。蓋し古今東西未だ曾て其の比を觀ざる盛擧快事と謂ふべきなり。併合の事成るや、直に諭告を發して施政の大綱を擧げ、先づ秕政の改良、秩序の維持、殖產興業の奬勵、運輸交通機關の開發、文化の普及等より王家、貴族、庶民の殊遇恩待に至るまで丁寧親切に諭示せられたり。而して其の諭告たるや、徹頭徹尾肺肝より出で毫末の浮言虛語を須ひず。爾來辛苦經營六年星霜、言ふ所悉く履踐して餘すなきのみならず、實に此の短歲月の間に於て十年も猶ほ足らざるの大業を成就し了せらるは、中外の齊しく贍仰する所たり。寺内伯今や朝鮮に於ける創業の功全く成りて、未だ休養の暇なきに、更に軍國の首相に任ぜらる。其の勞苦固より察するに餘りありと雖も、

△如今内外多事 偉器大才を要するや極めて切、寺内伯の朝鮮を去られたるは私情に於て最も惜むべきも、帝國經綸の前途を念へば、宜しく其の榮轉を祝し、且將來の成功を祈らざるべからず。而して其の朝鮮に於ける勳績に至つては衆目の倶に視る所、唯之を讃するに足るべき辭なきを憾むのみ。寺内伯に代りて朝鮮總督となれる長谷川伯は文武大官中最も朝鮮に縁故深き人なり。故に伊藤公を援けて保護條約締結の任を分ちたるのみならず其の條項の實施に際しては、統監の不在中其の事務を署理したること一再に止らず、軍人中克く行政の材に長じ、朝鮮上下の事情に精通せること、伯の如きは稀なるべし。加之風丰魁偉、威容備はりて

△而かも襟度宏恢 大綱を握りては大體を定め、細項に至りては人に任じて疑はず。但だ伯の曾て朝鮮に在るや、駐劄軍司令官として專ら軍務に當り、保護條約締結及び韓國軍隊解散の際に方りては、時に劍を案じて睥睨し、武人の眞面目を示されたり。故に或は其の秋霜烈日の英姿のみ仰ぎ見し者一概に其の猛威に畏怖する者なきに非ず。然れども外冷内温、武辨たる威儀は儼くまで失ふことなきも、其の情誼に厚きに至つては、親しく伯に接したる者の悉く看取する所なり。予の如きは一時公私共に自ら伯の恩遇を蒙りたるを以て、最も能く其の人格の崇高にして襟懷の温雅なるを感得する者なり。予は朝鮮の爲に斯の如き良總督を得たるを慶賀して止まざる也。

# 朝鮮の古城郭（三）

八木奘三郎

（四）歷代城郭の變遷（承前）

（乙）三國時代の城郭（續）而して本文の意右と同一なれども稍や詳を加ふるにより、順を追ふて左に抄出す可し。

按ずるに、南漢山は今の日長山なり。史に曰く、百濟の温祚王都を漢山の下に遷す（中略）蓋し漢山は其都五里に在り、其後新羅、其地を取り、始て城を山上に築く、此城や百濟の築く所に非るに似たり然れども或は百濟遷都の後、亦柵を山上に立て、而して新羅其址に因て改築せしか云々。（以上按文）

本文に曰く、

二聖山、金巖の北に在り、温祚の城址有り。

亭子山。一川の南に在り、即ち野中の小山なり、百濟離宮の遺址有り。（註に曰く、光教、亭子の兩山は今、水原に屬す）

按に二聖山と云へるは前の黔丹山とは異れり、而して此地又温祚の城址ありと云へるは日本の所謂出丸出城の類にして本城侵攻の敵軍を牽制するが爲めに設けしものにはあらざるか、斯る例は新羅の都城慶州の地若くは高句麗の本城平壤の近傍にも現存せり。されば對照上頗る興味ありと謂ふ可し。

又曰く、

百濟の始祖温祚王の十三年、慰禮城より都を漢水の南に移し、七月漢山の下に就いて柵を立て、慰禮城の民戶を移し、九月城闕を立つ、之を河南の慰禮城と謂ふ。

按文に曰く。

漢山は今の廣州なり、温祚、樂浪靺鞨の患を避け、都を漢南に遷す則ち明に是れ北よりして南に遷れるなり、蓋し慰禮の稱は漢北に始る、漢南に遷るに及んで、又舊號に因る、是所謂河南の慰禮城なり慰禮は當時の方言、凡そ匡郭の四圍あるもの、之を圍哩と謂ふ、圍哩、慰禮、聲相近きなり、故に土を築き、以て匡郭を作る、柵を樹て之を慰禮と謂ふなり、東史忠清道の稷山縣を以て温祚始居の慰禮と爲すは非なり、昨今漢陽東北の地是れ始て都するの地なり。

洪敬謨の慰禮城を論ずること頗る嶄新なり、然れども此書寫本にて傳はれる爲めか、世に其說を紹介するもの曾てなし、故に予は少しく長文に失する虞れあるも之を引用せり而して慰禮の解を方言に取り、稷山說を排して北漢說を立て之に對して南漢を河南と云ひ、且つ其都城地は今の南漢山上にあらずして黔丹山下と云ひ、又二聖山邊にも温祚城あることを述ぶるなど未だ他に見ざる新說と云ふ可し。

# 奉天より

△人心一新と斷髮 北京政府は國人中今猶辮髮を留むる者あるを以て人心一新の方法として今度訓令を下せるが其意或は復辟主義に懸伏の爲ならんと云ふ而して其辦法として軍人は各其長官より辮髮を留むる兵士に其衛生に害あるを說きて即日剪除せしめ又巡警は人民保安の任に當る者なれば率先剪除せしめ又行政官は最高長官より隨時檢査し又商人は各商務總會及び分會より勸告せしめ又鄉民は各紳董及び父兄より剪除を勸諭せしむるとせりと

△奉天省外債整理 大倉組對奉天財政廳一百五十萬圓の借款償還が去る十六日より更に向ふ一箇年延期となり該借款利子十餘萬圓は財政廳より大倉組に交付せられたるが之に對し奉天省議會に於ては斯る外債を借り徒に多額の利子を損亡するは利權の遺失甚しき者なりとて其借換、返還を主張する者多きが元來奉天省財政廳に於ては張元帥が巡按時代に一切の外債償還の目的の爲めに内國債の募集を開始したるも其成績不良にして其今日迄に募り得たる處は僅に一百四五十萬元に過ぎずして豫期の外債を償還するに足らず今猶募債を繼續しつゝあるも民間の不平苦痛甚だしくして殆んど中止の姿なるが財政廳に於ては更に民間財力に就き精細の調査を遂げて之れを省議會に提出して外債償還辦法を討究する由

△東清鐵道の滯貨 東清鐵道寬城子驛にては目下同驛より哈爾賓に輸送すべき貨物の滯積一千餘車に及び支那商等は速急を要する場合に驛長に贈賄して貨車の配給を受け居るが此狀態に憤慨して邦商某々は英商と聯絡して東清鐵道會社に抗議を提出せりと

## 渡鳥（五の日十の日會吟）

○鳥渡る聲々の野の明け　虎耳
○渡鳥船かへす客のかたまり　浮碧樓
○鳥渡る土器たゞまろし花さす　坡柳
○渡鳥蘆折り伏せて道かな　黄丘
○家鴨皆汀に立ち渡鳥　鳥堂
○我が家渡鳥に太しき　目袖

▲三品能く賣る [illegible]

▲①能く買ふ [illegible]

▲日能く買ぶ [illegible]

▲場の手振 主なる商内賣方面六千餘石◎三千餘

出來高 一萬七千四百石

格付 十一圓八十九錢 十一圓八十九錢

●不埒なる車掌 京城昭格洞李奇純（二二）は本年一月より京城電氣株式會社の電車車掌に雇はれ八月初旬[illegible]みに監督の眼を誤魔化し合計二十圓餘を竊取し尚電車乘車切符をも若干詐取したる爲め鍾路署に檢擧さる

大隈侯 阪谷男 高松博士校閲 新會員募集 拾貳號發行
工業化學講習錄
化學工業及金融業何でも指導企業界の羅針盤である
化學工業勃興の時代來る此智識を應用する好師友也 理化學專攻の大家博士學士技師等執筆講述す
入會金特免す 一ケ月五拾錢 會則見本武錢郵券封入申込次第進呈す
電話京橋二八三六番 振替東京一九四九八番 東京市京橋區弓町十二番地 工業化學講習會

大町桂月著 十版 筆のしづく 天金金文字入美本 特價九拾錢 送料八錢
先生の文章は花の如き血である火の如き涙である、奥から奥から筆の穂先を傳つて迸り出たのが此書である、其血と涙とが胸の

大町桂月著 九版 社會訓 天金金文字入美本 特價四拾錢 送料四錢
氣概と人情と學問と見識と文才とを兼ね備へた先生の社會訓、今の眞正な處世の道を知るのは斷じて此書の外にない。

大町桂月著 八版 古今史談 天金金文字入美本 特價四拾錢 送料四錢
英雄豪傑君子大人奸物佞者美人媛人悉く活た儘で此書の中に躍つてゐる

發兌 京城 公文書院 賣捌 京城本町一丁目 振替京城二五七三 大阪屋號

移轉御披露
今回都合に依り左記の處へ移轉仕候倍舊の御引立奉願上候
大正五年十月
京城府本町一丁目五十番地
古川鑛業所
所主 古川專之助
内山惠之亟
電話二五六六番

誰が讀んでも面白いと大好評
講談雜誌
十一月號 定價二十錢 郵稅一錢 前金四冊八十錢 五冊一圓二十一錢 東京本町 博文館
宮本武藏 仙術修業（長講）……邑井貞吉
天明白浪傳 おみつ久次郎……錦城齋典山
縮上り（落語）……翁家さん馬
永井源三郎 鈴ケ森（長講）……猫遊軒伯知
左甚五郎 竹の水仙……三升家小勝
五十五錢（落語）……金原亭馬生
大判口繪 朝寒（十二譜）……鏑木清方
芝神明 柳家毒饅頭……潮花樓主人
浮れ佛（落語）……五明樓玉輔
左甚五郎 眠り猫（長講）……小金井蘆州
上下二變人……神田伯山
尾上松緑 草枕戀旅杖……冴木信一
奥州白浪娘 再び江戸へ（長講）……悟道軒圓玉

京城電氣株式會社 朝鮮瓦斯電氣株式會社 電機金物商 巴商行 龍山漢江通八番地（電話四二四番） 樋口米太郎
右兩社製品 コールター一手販賣
同 行鑄物部 佐久良隆横 京城黄金町二丁目（電話一四二五番）
東京神奈川電氣株式會社代理 同 行電機部
大阪久保田鐵工所代理 石材（花崗石）販賣弊行持山（往十里）
今般釜山朝鮮瓦斯電氣株式會社製品コールター一手販賣仕候に付引續き御購求相成度此段願上候

# 立儲式御召諸員

皇太子殿下には來る十一月三日立太子式を行はせらるゝに付宮內省式部職にては過般來當日召さるべき諸員の範圍に就き種々調査中なるが御大禮に次での御典禮なるを以て成る可く多數を召され度き趣なるも朝集所並に酺宴の場所狹隘なる爲め已むを得ず『召すべき者は時に之を定む』との立儲令の條文に基き御召狀を發する筈にて其の範圍は御大禮の際の約六分の一乃至七分の一にして大略左の如く相成るべしと承はる(東京特電)

外國使節同夫人、大勳位親任官、大臣禮遇、貴衆兩院議長、勳一等旭日桐花大綬章拜受者、功一級拜受者、親任官待遇、公爵從一位勳一等以上夫人、高等官一等以下勅任官待遇有爵者、朝鮮貴族、有位有勳者、奏任官、其他總代、東京市長、東京市商業會議所會頭等

# 龍氏補助拒絶要求

廣東來電に曰く最近龍濟光將軍の麾下兵黃浦に於ける兵學校を燒きたるより廣東省會議は今回省會計局に對し今後龍將軍に財政上の補助を拒絶せん事を要求したり(上海特電)

# 雅典滿都混亂の狀

## 當局平然秩序維持に盡力せず

雅典來電=路透通信社雅典特派員十八日夜發報道に依れば雅典は滿都混亂の狀態にて希臘豫備兵は暴動を行ひつゝあり尚當局者は秩序維持に從事せる佛軍海兵に助力し居らずと(紐育電報)

# 露軍健闘破竹の勢

露國公報に曰く獨軍はドブルヂアの東南及び南方に於て瓦斯を以て豫備攻擊を行ひ激烈なる砲兵援護の下に攻擊し來りたるも我軍は之を擊退したり又ルックの西南方に於ても激戰繼續されたるが此所にても敵の攻擊を擊攘せり尚我軍はドルナヴアトラ地方に於て牽固なる敵を驅逐したりカルパシアン地方には大暴風あり(倫敦電報)

# 羅軍善戰敵を擊攘す

ブカレスト來電=陸軍省公報に依れば羅馬尼軍はオイツアルロイを經由して羅馬尼領內に侵入せし獨墺軍を國境外に擊攘し尚爾餘の諸戰闘に於ても敵の攻擊を擊退したり(紐育電報)

# フ將軍負傷免官

獨逸前參謀總長にしてトランシルヴアニアに於ける獨軍總指揮官たりしファルケンハイン將軍は負傷し其職を免ぜられたり(桑港電報)

# 御下賜

## 寺內前總督へ

聖上陛下には寺內伯が多年朝鮮總督として在任中の功勞を嘉せられ二十一日午前伯を宮中に召され御紋付銀製花瓶一對御下賜相成りたり伯は聖恩の鄭有に感泣し親しく御禮を言上せり(東京特電)

# 三線問題協議

寺內首相は三線聯絡運賃問題に關し二十三日午前十時より首相官邸に於て協議を行ふべく後藤兼任鐵道院總裁、白仁民政長官、中村滿鐵總裁、大屋鮮鐵長官、木下運輸局長、大園監督局長等に對し夫れ〳〵通牒を發したり(東京特電)

# 中旬對外貿易

大藏省の調査に係る十月中旬の外國貿易は輸出に於て生糸及び砂糖增加し銅、羽二重減少し輸入に於て機械類增加し棉花減少したるが結局輸出三千三百六萬七千圓輸入一千七百六十三萬六千圓差引一千五百四十三萬一千圓の輸出超過を示すに至れり(東京特電)

# 吉田領事送別會

安東駐剳領事吉田茂氏は今回歸朝を命ぜられ十一月四日安東を引き揚ぐる筈に付官民三十餘名の發起にて來る二十九日公會堂に於て其送別會を開く筈なり(安東特電)

# 哈市財界近狀

哈爾賓前月の市況に付確かなる向の調査を聞くに特產其他の輸出は時期尚早なる爲め金融亦閑散なりしも中旬以後大豆の先約相當行はれたると小麥の弗々出廻りを見たる爲め此方面の資金は幾分需要ありしが一方輸入にありては綿布の取引も前月にて一段落を告げたるとメリヤス諸雜貨も安商談捗々しからざりし爲め總じて金融緩漫にして市中の金利は弱持合の裡に越月せりされど十月に入らば小麥の出廻りも益々旺盛となり大豆の買附資金も亦激增すべきを以て金融繁忙期に入るべし而して輸出品の出廻りは至つて少なく唯僅に小麥の奧地より製粉筋へ多少出廻りを見たるのみ又輸入品にありては東淸鐵道貨車依然不足の爲め荷動き甚だ不活潑なるも唯小包便によるメリヤス及び雜貨の輸入は相當ありたるものゝ如しと

# 北鮮生中移出

## 日本海橫斷航路の機運

昨年第一回を試みられたる北鮮牛の敦賀移入は敦賀の大和田氏及び淸津實業家の組織せる旭組合に於て再び計畫進捗中にあるが今回更に敦賀の露亞洋行にて移入の計畫あり同洋行は從來浦鹽に雜貨類を輸出しつゝありしが今回露國に於て贅澤品輸入禁止令を發したる結果浦鹽方面の取引を中止し北鮮地方に業務を擴張し目下最も望ある北鮮牛を移入し傍ら內地物資を北鮮に移出せん事を計畫し本月下旬第一回の移入を爲す事となり同洋行員藤島某は同地の畜牛家安倉某と共に本月十二日總督府農產課を訪問後來淸吏に鏡城道廳に到り買出其他移出手續等に就て打合を爲し十七日城津に向け畜牛買出の爲め出向せるが

▲第一回は約二百五十頭を移出するの豫定にて畜牛買出に就ては地方產牛組合と交涉買收せし畜牛は道廳と交涉し借用せる城津海岸官有地の繫留所に集め來る二十三日頃回航の運搬汽船宗谷丸が入港の際同地警察官憲の健康牛證明書を得て積載內地に移出し敦賀に於て活牛は二十日間の繫留檢疫を爲し各用途に向て販賣せん方針にて耕牛の有望なる關係上肉牛耕牛を併せ移入せんとするものなるが運賃は船腹稍緩和の今日一頭六圓乃至七圓にて充分なるが昨今內地は牛價昂騰の折柄とて北鮮牛價が昨年より幾分高値を唱へ居るも優に相當利益を得べき豫算にて

▲若し利益なしとするも雜貨類の移出に依りて之を償ふべく第一回の成績如何に依りては更に十一月中旬第二回の移入を爲すべく生牛移出地は最初は城津なるも將來は淸津元山西湖津地方よりも移出すべきが國境牛疫の關係上總督府の注意もあり主として城津地方に於て買收せんとする方針なり而して以上露亞洋行の外更に北鮮牛移入を計畫せる橫濱の二三畜牛家あり同畜牛家連は近く北鮮牛視察の爲め福井縣より派遣の畜產技師と同伴來北する事となり居れるが同畜牛家は視察と同時に數十頭を購買し試驗的移出を爲すの計畫ありて其他當初の計畫者たる旭組合も組織を更めて移出を計畫するあり今や北鮮牛の內地移入熱は勃興の姿にして隨つて北鮮牛移入を手段とする日本海橫斷航路開始の機運は益々熟しつゝあり

# 地方經濟狀況(十三)

仁川商業會議所調查

## 京畿道振威郡地方

本郡は南に安城川中央部を振威川の流るゝありて平野多く其の最も大なるものを平澤平野と稱し面積東西二里南北八里を有し所謂平澤平野の地たり此他郡內殆んど平地にして農作物に適し產額は亦隣郡に其比を見ず本作は移植期に於ける灌水豐富なりしが七月に入り降雨多量にして幾水を了したりしが七月中旬を以て全く植付けを了したりしが過度繁茂爲めに徒長の傾きあり且つ安城、振威兩川附近に於て所々淺水を見るに至れり然しながら之れ一部分にのみの被害にして全反別に及ぼす程度極めて少なく概して生育良好なり然るに八月に入りて再度多量の降雨は恰も成熟分蘖期なりしため幾分成育を阻害せられたる爾後天候恢復し漸次佳良の域に趨き今や大部分の黃熟を了へ昨年に比し三割五分の增收確實なるが如し

▲麥作 雨量潤澤にして發芽充分生育極めて良好なりしが開花期に於ける降雨のため著しく結實を障げたるが如し然し其後の天候稍順調に向ひ平作を豫想せられたるが收穫期前後に至り降雨過度なりしため昨年に比し三割を減收せり

▲大豆作 發芽後の天候乾燥降雨少なくして爲めに發育低下し豆葉の徒長を促し結實期遲れたるも昨今に至り天候漸次恢復し稍や佳良の域を逐げつゝありて昨年に比し五千五百餘石の減收なり但し此の減收は作付反別の微減に伴ふものにして先づ平作を豫想せらる

▲主要穀類集散 本郡は京、南、北の隣郡は總て農作物の地なるに加へ南部安城川の流域に依り舟楫の便あると共に東部に京釜線の貫通するあり加之郡內比較的丘陵少なく且つ平坦なる道路四通し諸般貨物の運搬至便なるを以て郡內は勿論隣接他郡の生產物は牛馬背に依り續々として市場に搬出せらる而して郡廳所在地たる平澤の居住するのみならず各地米穀商の買出方に入込むもの少なしとせず爲めに出廻期に於ける市況殷賑を極む而して之等商人に依り買入れたる穀類は殆のまゝ平澤及西井里の兩驛より地方に向け搬出せらるゝも其の大部分は平澤驛より鐵路各地に向けらる而して平澤には大正三年十一月以降道令に基く米穀檢查所を設け內鮮穀物同業者の申合せにより平澤米の聲價を向上せしむべく各種別に檢查の上移出しつゝありて其成績頗る良好なり然るに當平澤商人と生產各地に於ける仲買口錢のみを念頭に置かず自ら進取的態度を持し鮮內地は勿論遠くは內地阪神、關門、名古屋、博多方面等に販路を設け其勢力各地に比すべくもあらず所謂純然たる穀物の輸移出市場を形成せり而して主なる仕向地は過半內地にして仁川、京城、釜山等之につぐ市況は先月迄は在米全部の出拂ひと共に取引不振狀態に在りしが麥收以來最近に至り弗々ながら新穀の出廻り初めたるため市況稍活氣を呈し地方商人の入込みと共に來るべき出穀期の殷賑を豫想するに難からず現今取引相場如左

| | | | |
|---|---|---|---|
| 白米 神力 | 一石 一三、八〇 | 玄米 神力 | 一二、〇〇 |
| 白米 在來新米 | 一三、一〇〇 | 玄米 在來 | 一一、七〇 |
| 籾 神力 | 五、一〇〇 | 大豆(上) | 九、〇〇 |
| 籾 在來(新米) | 四、九五〇 | 大豆(下) | 八、〇〇 |
| 大麥 | 三、八〇 | 小麥 | 五、八〇 |

▲主要物資集散狀態 本郡に輸移入すべき貨物は殆んど平澤驛に依るものにして他は僅かに西井里、成歡の兩驛より郡內に分布せらるゝを見る前述の如く穀物の集散頻繁なると共に郡內は勿論近郡に於ける中心商業地なるを以て數量も亦從て多額に上る然るに一旦平澤驛より輸移入せられたるものは更に郡內安城、西井里、安仲場其他各市場は勿論廣く沿線各地に仕向けられ大田以北に於ける烏致院に次ぐ商勢圈を有す而して最近の市況は米價の下落に伴ふ農民の經濟狀態頗る窮狀を告ぐるに反し雜貨類の如き相場品は上騰を加へたる結果需給相伴はずして各市場閑散を極め荷動き更に見るべきものなかりしが最近米價稍々持直したると舊盆期に會せる爲め市場取引弗々として行はれ好況に向へる折柄農作物の豐穣確定し依然經濟界の前途は市況益々活況に上り每市每に賣行き增加を見るに至れり

| | | | |
|---|---|---|---|
| 石油(上松) | 五、五〇 | 金巾(一丈) | 一、三五 |
| 砂糖 | 一三、〇〇 | 鹽(百斤) | 七五 |
| 淸酒(一樽) | 二六、〇〇 | 醬油 | 八、五〇 |
| 燐寸(安全) | 六、二〇 | 麥粉(一袋) | 三、〇〇 |

▲金融經濟狀況 本郡は獨り農產物の生產地たるのみならず京畿道中西京釜沿線中に於ける有數の商業地として知られ取引高年々に多額に達し金融頻繁を極め其の出廻期に於ける爲替取組高の如き年々二十萬圓を下らず又た一方米穀商人等の買出等に要する資金の需要巨額なるものありて此等に對する貸付例年百萬圓以上に達すると見る而して在來銀行側に於ては殖銀以外の一般商業資金としては幾分貸出を手控への氣味合なりしも本年に入り銀行側の營業方針の一部を改むると同時に不動產擔保貸付に限り之に力を注ぎしより財界自ずと融和せられ雜貨商側に對する取立緩和を得て一般農民側に於ける經濟狀態は本年三月以降米價の下落と共に悲境に陷り農家に於ては權利の購入すら困しむの有樣にて勢ひ高利の資金を得て一時の急を救はんとの形勢を馴致するや當地方金融組合に於ては假令急場の策とは云へ農家の窮狀を救ふべく低利なる金融組合に依るの策を施したる結果彼等に於ても其の得る所の大なるを知り之れを敢行せる爲め漸く其の窮境を脫し得るに至れりしが八月に入り農況豐作の見込み確實となり一般の農具合し依然として之れが回收し得るに至れり而して農家の金融は漸く緩和を告げ所謂靑田貸の爲め農民と共に地方商人若くは鮮人仲買人等の擴ぐるに至り當月に入りて金融組合に好成績を擧げ金融の一を回收し得るに至れり今當地方金融機關たる橫濱農工銀行支店取扱高及貸付高等並に平澤地方金融組合昨年中取扱高左の如し

| | |
|---|---|
| 漢湖農銀支店爲替受拂高及貸付高 | (大正四年中) |
| 爲替 受入 | 八五、九七三圓 |
| 爲替 拂出 | 一一九、八七四圓 |
| 貸付 | 四三、九六九圓 |
| 平澤地方金融組合貸付金取扱高 | |
| 貸付 | 二一、一二三圓 |
| 償還 | 二一、四六〇圓 |
| 貸付 | 八、七九一圓 |

# 京畿金融組合成績

京畿道管內に於ける二十三の金融組合に於ては目下七千八百廿四人の會員を有する次第なるが九月末に於ける金融狀況を聞くに純貸金合計一萬百七十八圓六十錢にして之を一組合に平均すれば四百四十二圓五十五錢の收益ありし割合なりと

# 仁川の精米業

仁川に於ける精米業者は奧田、力武、辻川、庄野、濟物、天日の各精米所等にして昨年の如きは精搗高約二十萬石に達したる程にて何れもエンゲルバルク式精米機四臺乃至五臺力武の如きは十九臺を備へて盛んに加工しつゝ有るが年と共に他道よりの廻著米激增するを以て精米業は自然勃興を促され今や造船業の發達と共に駸々乎として向上し仁川に於ける二大工業として前途頗る注目すべき者あるの情勢にあり然して最近に於いては一二精米場の擴張及び從來籾摺專門なりし不二精米所の新たに精搗業を開始する計畫あり萬石町舊精米所又鮮人有力者に依つて再興されんとし目下準備中にあるが如き何れも精米事業熱勃興の證左にして是等諸精米所が擴張或は新に增設されたる曉は仁川精米界の精搗能率は從前に倍徙すべく其結果は地方產米の廻著激增するは瞭かなる事實なる可しと

# 機業場擴張計畫

京城恩賜授產機業場は現在三十人の受產生を收容し一日平均五十反の織物を製出し居れるも來年度より規模を擴張し動力を据付け工女を增員し少なくも一日二百反以上の織物を製造し汎く內鮮人の需要に充つる計畫なりと

# 北滿洲より

(第七信) 琴花

○露曆十月一日の宗教日とて今日は三色旗翩風に飜り道行く露兵も上衣を著換へたれば少しく淸々しけれど露國の兵士の戎衣ほど垢に光りて汚穢なるは莫し、質素なるは戰時の武夫が氣分の偲ばれて最と床しけれど戰局の推移と共に漸く諸給與の險くなり極東にても滿洲國境五十露里地帶內に酒精及び酒精分を含む飲料水の製造及び輸入並に保存を禁せるを手始めに逐次禁制品の增加して砂糖、一切の奢侈品、菓毛、鳥羽、果實、礦泉、鹽漬の魚類に至る迄凡そ衣食の料を差止めたる、聽て黑パン喫りて冷水飲む外はなかるべし

○財政の窮乏なるは何處も同じ冬枯の郊野を見渡すにつけ我慢で通すスラブ民族が其疲れ果てたる財力をなりて何等の遲躊なく露都に運めたる極東經營の蹟の流石に首肯ること、就中今彼はをが可憐なる兵士の給與する支へかぬる世帶に在りて且つ一點經濟上の脈管たらぬ哈爾賓ブラゴヴエシチエンスク間の新線路(今春露亞銀行の名に於て敷設權を得しもの)を細密に測量しつゝあり

○西比利亞本線と云ひ、後貝加爾線と稱し、東淸鐵道と唱へ、地方に依りて其名變れども遙かに東淸線と相對して復線の作用を爲す黑龍江線を加へハバロフスクより南してニコリースクに出づる烏蘇里線を合せて、延長約一萬吉米に亙る極東の長鐵蛇をいか程公平に見るも幾らか地味の肥沃なる北滿洲の一部を除きては餘りに氣の毒な處もすれど曾ては東洋の禍根視したる此鐵道が端なくも今次の戰亂に會して露國唯一の輸重路となり、軍事上の性能著しく經濟化されたる、都々逸の所謂喉を切らうとした此剃刀が眉毛落すと知らざりし心地のせざるなき能はず

○新協約の副產物たる第二松花江左岸迄の讓渡が我に取りて差したる價値あるものにあらざるは是一たび此地を踏めば分りきつた事實にて問題とするに足らざれども露國が其極東經營に最も重要なる哈爾賓市を放任して我が商權の展開に委せ既に日露貿易の五分の三は我が居住の商人の手に左右せられ此趨勢を持續せば今後五年にして哈市の大半は我が權內に不動の根を張らんとするを顧みざる觀あるは須らく研究の要あり、殊に東淸線南部の讓渡を議するに方り極東總督は哈爾賓以南を割くも強ち不同意ならざりしが如しといへるに徵せば極東政策に質的なる變化を來せし樣にも見ゆ、東淸鐵道總裁が職を賭して爭へりと聞くに察すれば臨機の現象と疑はれざるにもあらず

○對露貿易益發達して彼我商勢の愈密接なるべきは自明の理なりと爲すものと、刻下の情勢は戰局の終熄と共に必ず秋風の枯葉を拂ふが如く凋落すべしとなすものと兩々相持して容易く勝負の決せざるは蓋し是に因る(十四日)

# 人事消息

▲三浦周行氏(文學博士)二十一日夜歸京
▲田島武之助氏(貴族院議員)入京中の處二十一日夜退京
▲桑田熊藏氏(貴族院議員)同上
▲茂木波一氏(步兵中尉)同上
▲サノシンスキー氏 ▲ボロボスキー氏(露國軍人)二十一日夜入京朝鮮ホテルへ

# 南北言語

羅國に侵入せんとする獨墺軍が遮二無二に進んで來る處を羅軍が必死になつて防戰して居る處は他の方面で見られない最も興味ある戰爭である▲萬一此處で羅軍が破れて本國を敵に蹂躙せらるれば羅馬尼は蹶起した甲斐もないのみならず自ら滅亡を速めた譯になる▲國の興亡は此一戰にありは今の羅國上下の叫びである▲聯合軍たるもの亦空しく傍觀して居る秋ではあるまい早く希臘も何とか片付けて大に氣勢を揚げる必要が焦眉の急だ▲東部戰線ではカルパシアン山脈が露墺戰爭の天王山だから露軍に奪はれては大變とマッケンゼンは一生懸命である▲萬一の時には此地方の住民を老幼男女の別なく戰線に引つ張り出す爲に戶籍調査をやつて居る相な然るに露軍の鋒鋩頗る猛烈で流石のマッケンゼンも烏渡挫く事が出來ぬ▲イラ〳〵するのは獨帝で獨帝も大分業を煮やして巴威軍總指揮官レオポルト殿下を特使としてマ將軍を詰らした▲親翰を得たマ將軍見る見る顏色を變へ蝋と引裂くかと思ふと燐寸を擦つてメラ〳〵と燒て仕舞つた▲勅使のレオポルト親王は眞ッ蒼になつて逃げ歸つて其の趣を獨帝に通ずると獨帝は苦笑した切り一言もなかつたさうだ▲米國大統領候補者としては何うもヒューズ氏の呼聲が高くウヰルソン氏の再選には烏渡頸を傾けざるを得なかつたが▲ルーズヴエルト氏が新にヒューズ氏に應援する事が發表されてからは▲何となくヒューズ氏が不人氣になつて共和黨の新聞中にも續々ヒューズ氏より放るゝ者が多くなつたらしい▲一時世界の隅々迄も喧傳された當年のルーズヴエルト氏も那うなつては同情に堪へぬ▲此處にも秋風寂寞の感ありだね

# コレラ彙報

▲全道虎疫累計 二十日午後……

▲一層警戒を要す ……な事無し』なぞと侮り居るもの多き……べきものに非らず……由なるも是に就き防疫當局者の談に……早き爲め直ちに患家其他に大消毒を……

……郡藤岡町生れ京城西四軒町居住小林猿三(二)は窃盜前科一犯あり十月十……は八月三十日より九月廿日迄に京城蓬萊町二丁目外三箇所の空屋に忍び込み衣類四十二枚を拔き取り之を……

……上村生れ京城仁義洞居住森田芳太郎(三五)は龍山元町二丁目望月留方に雇入三十橡(百餘圓)を託され賣し居れる內五十九圓餘を橫領し本町署に引致さる

朝鮮特產

純人蔘精腦を必要とす

伏見親王の御宮家の御用命を拜したる人蔘界の大王

定價 十日分 七十錢 三十日分 一圓八十錢 六十日分 三圓二十錢 九十日分 四圓五十錢

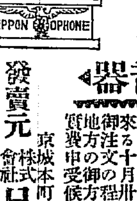
本劑の奏效絕對に確實なるを普及する爲

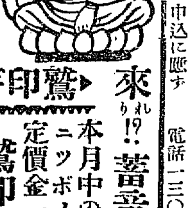
―當分定價の二割引―を以て提供す

藥書は申込に應ず

京城府長谷川町五八番地 朝鮮製藥專賣所 電話一三〇九・振替口座京城三八一〇番

秋季大賣出し





鷲印蓄音器

來れ!? 蓄音器のシーズン!!

本月中の御注文に限りニッポノホン器械一臺に付定價金一圓五十錢也の

鷲印兩面盤(何でも御希望の品)拾枚御添申候

來る十月卅一日限り〆切可仕候間大至急御注文の程奉願上候也

地方の御方へは迅速發送可致箱代及運賃實費申受候也

發賣元 京城本町二丁目 株式會社 日本蓄音器商會 電話二八三番・振替京城六八四番

日韓書房

新版報吉

大內靑巒著 人生の快樂 定價一圓三十錢 送料十二錢

俳諧 芭蕉翁全集 定價一圓五十錢 送料十四錢

ロムバード著 マクベス 定價一圓 送料十錢

姉崎正治著 法華經行者日蓮 定價一圓五十錢 送料十八錢

前田慧雲著 力の生活 定價八十五錢 送料八錢

◎病人諸彥に急告す

今般不肖笑堂儀多年の苦心と經驗とに依り得たる効果偉大なる心的治療法を左記場所に於て施行し萬病に苦しむの諸士を救はんとす乞ふ一般病人諸彥此の好期を逸せず直ちに來つて回春の効を期せられよ

十月二十日

加藤心的治療法 心的作用探究者 加藤悟導軒笑堂

◎場所 市內壽町二番地原金旅館

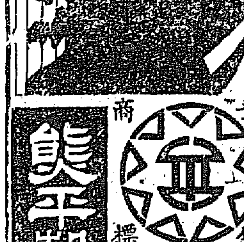
◎開始期間 十月二十一日より向ふ參週間

◎治療時間 午前九時より午後四時迄

◎料金 每回一圓

◎効果なき時は料金は返金す

◎心的療法研究志望者は懇切相談致まし



登錄商標

熊平製原紙

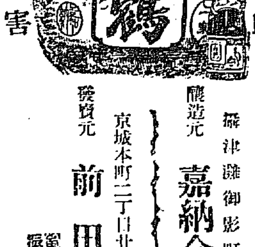
▲北から南から 熊平の原紙

▲南から北から 熊平の原紙

▲賣行のよいのは品質が良いから

大日本優等淸酒

ハクツル




品質純良 衞生無害

攝津灘御影町 釀造元 嘉納合名會社

京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

[illegible]結果疑似コレラと認む患者は隔離病舍に入れ附近十三戶は隔離檢便中原因系統取調中

▲[illegible]八千六十三名外國人一名にして右の他に菌保有者百九十四名あり

[illegible]方に比較し[illegible]發生數割合に多きため昨今市中にては『今年の虎列拉は感染力が鈍く感染しても死する樣[illegible]』[illegible]名を出し又明治町櫻井町等の如きも患者の發病後僅か二日間の內に家族に傳染したる例あれば決して油斷す[illegible]流行を見ざるやも計り難し今後一層警戒を要すと

◉竊盜して遊興 群馬縣多野郡[illegible]竊取し遊興中本町署の刑事に捕はる

◉空屋を荒し廻る 黃海道信川郡大積面中里生れ住所不定の崔龍雲(二四)[illegible]に賣却したる事發覺し龍雲は笞九十みつは罰金十圓の處分となれり

◉棒杭代金を橫領 石川縣能美郡川北[illegible]外加五里の農地に打込む棒杭の代金として交付を受けたる十一圓餘を橫領消費し尙本年六月十日には蓬萊町三丁目醬油商直江某方より醬油一斗[illegible]

# ●石炭と勞銀の廉い

## 滿洲は將來有望なる大工業地

是非滿洲の事情は知つて置きたい

▽柴崎校長の土産話▽

過般來南滿鐵道沿線を視察中なりし京城中學校長柴崎鐵吉氏のお土產談に曰く『朝鮮から滿洲に出掛けると云ふ者がなか〳〵感心することが尠なくない本校の五年生八十名も二十三日から奉天まで▽修學旅行を△試むる筈であるが將來は是非滿洲の事情は知つて居らねばならぬと思ふ、申すまでもなく滿洲は大豆と石炭の滿洲で、土地そのものは何處も頗る無趣味千萬なものである、旅行中到る處で『朝鮮は恰度內地そのまゝのやうですな……』と羨しがられたが自分はそれを單に京城の事とのみ思つた、然るに這回歸途鴨綠江を渡ると共に▽朝鮮の山河△が故鄕のやうに思はれたから初めて其の意味が解つたのであつた、彼の一望萬里の高粱の畑天に連る滿洲を見ると山あり樹あり河あり丘ある朝鮮の風光がつく〴〵內地同樣の感じがするのも無理はないのである……近年內地に於ける工場は漸次北九州の門司、若松、福岡附近の地方に移つたが此の次ぎに興る大工業地は必然滿洲の撫順地方數里の間であると思ふ、現に撫順ではモンド式の瓦斯によつて非常に▽廉價な動力△を得て居るが瓦斯は廉い石炭の餘り屑を燃燒せしめてそれに空氣と蒸氣を吹き込むもので普通の瓦斯の十分の一の價で出來る、而してそれによりて電流を起すので非常な廉い動力が得られるのである、且つまた水には豐富なる運河の流れあり勞力には勞銀の廉い支那苦力ありとても將來製造工業が起らざるを得ないと思ふ、現今でも硫酸製造や窒素肥料製造をやつて居るが後者は空氣中から窒素を採るので▽非常に有望△な事業である且つまた四億噸に餘る撫順の石炭を用ふれば一つの事業から更に副產物から副產物を採る仕事も出來更にまた副產物を產むで共同生活が出來るのである、現に鞍山店の鐵鑛による製鐵事業の如きも動力が廉いから有望であるとのことであつた、若し今後關稅問題が解決して輸出稅や輸入稅が撤廢されるに至つたならば日本の製造工業家は潮の如く押寄せると思ふ』

## ◇立太子式の旗行列

木浦小學校の奉祝式

來る十一月三日御擧行の立太子式は御大典に次ぐ御盛儀なるを以て木浦に於ても滿腔の熱誠を披瀝し出來得る限り盛大に奉祝すべく目下協議中なるが木浦小學校に於ては當日其筋よりの指示に基き奉祝式を擧行したる後全校生徒約八百名校庭に集合し職員の指揮に從ひ一齊に體操を行ふべく終つて旗行列を催し『出目度き代なのためしとて……』と奉祝歌を和唱しつゝ市中を一巡するに決したりと(木浦)

# ●『夕暮』特選に入る

## 金觀鎬氏の名譽

二十一日文展西洋畫の鑑査終了し朝鮮青年畫家金觀鎬氏の作『夕暮』特選に入れり(東京特電)

# ●京城と招魂祭

二十三日は招魂祭當日に付き例年の如く朝鮮駐劄陸海軍各官衙は執務を廢すべく京城に於ては未だ招魂社の設けあらざれば何等の式をも行はずと

# ●薄暮の情趣に迫る

## 金觀鎬氏の作品『夕暮』に對する世評

平壤出身の洋畫家金觀鎬氏が其の美術學校卒業の際の製作たる『夕ぐれ』が本期の文展豫選に入選したる事は既に本紙に記載し又別項東京特電の報ずる如く二十一日終に特選に入るの名譽を荷ひたるが今東京に於て『夕ぐれ』に對し或る批評家が本社に寄せ來りたる書信を左に紹介す以て氏が東京美術界に於ける嘖々たる名聲の一端をトすべきなり

◇夕ぐれ の作は氏が今春美術學校を出る時の卒業製作にて當時好評ありしものなり氏は選科に在籍し居たるも此作品は本科生としても一人として其右に出るものなく美術家鑑賞家周知の品なり

◇特點は 他迄も眞面目にして少しの胡魔化しなく人體描寫は完全に近し、加ふるに全畫面に漲れる一種寂寞の氣分は其人に具はれる諧境と覺しく

◇薄暮の 情趣充分なり、右は當の作家を標準としての評なれば直ちに此作を以て傑出したるものとなすは誤りなれど前途洋々たる天分を有することを斷言し得るなり

# ●榮の記念章

多年朝鮮の女子教育に貢献せる私立淑明女學校にては廿一日午後一時から創立十週年の記念祝賀會を催した

猶ほ此の日は新築講堂の落成式をも兼ねたので來賓には松永道長官、兪參與官、金春熙男爵、金谷府尹を始め總督府の視學官內鮮人學校長等多數の參列あり猶は淑明女學校、養正高等普通學校生徒を始め生徒の父兄達も多數出席して悅し相であつた、式は一般內地の學校に於けると同じ順序で先づ一同の最敬禮の裡に勅語奉讀あり 君が代の唱歌あり 次いで小杉副校長の式辭 頭識が試みられた、斯くてまた學校創立者として今日まで朝鮮女子教育の爲めに盡力したる校長嚴俊源氏の爲めに記念章贈呈の式あり、光輝ある記念章は松永道長官の手より校長の胸間にかけられたのであつた 斯くて式を終つて後は生徒の記念學藝會に移り前後十數回に亙る唱歌談話等が試みられたるが何れも流暢な日本語で來賓を驚嘆せしめたのであつた、因に此の學校は嚴妃の令兄に當る現校長嚴俊源氏の經營になり

## 松永道長官の手から 嚴校長の胸へ

基本金は初め英親王宮から賜つたものであるが現嚴校長が十年間の苦心少からず現に二百五十人の朝鮮女子生を收容して高等女子教育を施して居るのは朝鮮の爲めに慶賀すべきことで當初校長が戶別訪問してまでも入學者皆無なりし頃に比すれば朝鮮の教育界も隔世の感なき能はずと大にむかし譚しもはづむだのであつた

# ●消防演習擧行

京畿道警務部消防隊主催秋季消防大演習は虎疫流行の際とて一時見合せの儀ありしも虎疫も殆んど終熄に近きたるを以て愈擧行する事に決定し目下據所の詮衡中なるが十月中に擧行するに至るべし

# ●野菊葛紅葉をお土產に

## 京城高等女學校生徒の山登り

京城高等女學校の三四年生百八十餘名は二十一日の土曜日を朝から北漢山に登攀した、道は北門から洗劍亭にとり紅葉燃え出でんばかりなる石披亭の秋を賞しつゝ爪先登りの徑を溪流に沿うて次第〳〵に

▼三角山の山懷に分け入つた、此の日海老茶袴の女生徒達は姐さんかぶりの手拭に草履の紐を堅く結んで手には各人各樣の金剛杖、中にはお父さんのステッキを御持參の向きもあつた、斯くて磊々たる三角山の岩根を踏みしめつゝ一同長蛇の列を成して大西門へ辿り着いたのは午前十一時過ぎ、肩にかけた水筒の水が『おいしい〳〵!』で空虛になる、それから一同は北漢山の城壁に沿うて普賢峰から文殊庵に入り、其處から秋晴れの京城を脚下に瞰下しつゝお下げの髮を北漢山の秋風に吹かれたのであつた、お午のお辨當はまた

▼此の邊りで開 かれたが何れもお腹がペコ〳〵になつて居たから大變お美味かつた、と見れば北の方には白雲臺の俊峰が碧空に聳れ見上ぐる許りの岩石には秋を彩る蔦紅葉の葉が紅に燃えて、草履にふれる可愛らしい嫁菜や野菊の花なども共に生徒の家づとなつた踊りは輔國門から廻りくねつた下り徑、牛耳洞の貞陵里に下りてそれから平坦な街道を東小門に歸つた、斯くて薄暮動物園入口の弘化門前に整列して佐々木先生のおはなしを聽いた上、思ひ〳〵に電車で歸つた、此の日生徒の中には一人の

▼落伍者もなく 午前七時から午後六時まで約十一時間に亙る山登りを試みて平氣であつたのは白岳登りの一二年生に較べて遜色なしと附添ひの先生からお自慢ばなしがあつた、中にも卒業生や補習科生の二三の人は下駄履きのまゝで踏破した健脚家もあつた『それでは遲くなりましたから、皆さん道草喰はずに早くお歸りなさい……』『さようなら〳〵!』で解散したのは午後六時廿分『誰れか水筒を忘れた人はありませんかア……』とゲートルの先生が大きな聲をお出し遊ばした……

善隣商業學校の運動會(廿一日)

## ◇洋畫展覽會を觀る

圏丸野竹南氏城勉一郎氏の洋畫展覽會が南大門通り一丁目のキリスト教青年會の階上に開かれた。

圏場內は三室に分けられて陳せまきまでに陳列されてゐる、油繪、水彩、パステル、テンペラ等各々色彩を異にして趣きがあつた、兩氏の外に客員として內山、長尾、玉井の三氏も出品して居た。

圏第一室の中央に朝鮮と題する二十五號位のものがあつた、一體に淡い情味を帶びた柔かな朝鮮の氣持ちがよく出て居るポプラーの大樹と白衣の女も何物かを語て居る樣だ、四七番の靜物も一寸いゝと思た、花の氣持はかるくいつて居る。

圏第二室では四〇番の畫形の額に入つて居る水汲みと云ふが小品ではあるが力強い作だと思ふ額はくは今少し選擇された色がほしい樣に思つた、城氏の作では八一番の月などはいゝと思ふ澄だ空の氣持は出て居る、同氏の作で九九番の朝鮮は殊にいゝと思ふ、陰なふくんだ砂土と空の色とはいゝ調和を作て居る深みのある作だ。第一室の長尾氏作人物夕陽其に面白いと思つた、畫面に或る不愉快な色彩が少し見られる樣だ、人物の顏には無意味な色が有り相に思はれる、然し試みとしてはいゝと思ふ。

圏之れ等の作品總數百十點其の內既に賣約の赤札のはられたのを五六枚見受けた、かう云ふ催しがだん〳〵多くなる事は京城の爲めにも賀すべき事だと思ふ自分は一通り見終た時柔かな氣持で會場を出た、秋の空は青く高く深く澄んで居た。(ーとみー)

## ◉善隣學校秋季運動會

龍山善隣商業學校にては二十一日午前九時三十分より同校運動場に於て第三回秋季運動會を開催したるが來觀者多數頗る盛會なりき

◉困つた鮮人 仁川外里古物商趙鎭玉(三五)は虎列拉流行中花平里新花水里間の警戒線に至り巡査の制止あるにも拘らず物品を知人に渡したる廉に依り笞二十に處せられたり

## 六 松花江鐵橋

松花江南岸老燒鍋(前通信老少溝とあるは誤り)の鷄谷地の風景は平野廣漠たる北滿洲の野に於ける平板の彫刻である大洋中に現れたる風光明媚なる島の如くに其の周圍の平凡を破つて美しく殊更に人目を惹くものがある殊に

團々たる月光は 此の美しき鷄谷地に樣々の隈を作つて濃い明暗の影が列車の進行に連れてクル〳〵と背後に廻はつて行くやがて夜の空氣を顫はせて汽笛が響くのである此の時老燒鍋から乘込んだ多數の兵士は列車の窓の板戶を悉く閉鎖して松花江の鐵橋と其の南岸老燒鍋及び北岸洮賴照の要塞地を窺ひ見る事を警戒して居る此の鐵橋及び

南北江岸の堡壘 地帶の警戒は元來嚴重であつたが殊に歐洲戰亂以來獨探に備ふる爲め一層嚴重なる警戒を爲す事となつた 而し自分は窖們驛の食堂で懇意に成つた車掌に頭痛がして堪へられぬからと云つて漸く車掌室の中へ入れて貰つて其の窓から松花江の流れを見る事を得た月の光を泛べて鏡の如き江の面は更に鐵橋の兩側に並列する多數の

アーク燈を受け て中洲に茂る柳の林の中さへ手に取る如くに見ゆる水はさして洋々としても見ゆなかつたが遙か上流に可成に大な汽船の舷燈が見ゆた位で有つたから河の深さをも想像する事が能きる江を渡り終つた後も線路の兩側は三哩餘りと思ふ位の長さで果てしも見ゆぬ廣い沼地續きで有る露西亞が人馬渡るべからざる天險と賴んで居る地帶であるとの事だ列車はやがて江の北岸洮賴照に落いた今日露國から

我國に讓渡さる べき鐵道線路は江南老燒鍋驛までなりとも云ふし又江北洮賴照驛までなりとも傳へられて居るが我國の要望する處は勿論江北洮賴照驛までなるべく露國の讓渡を快諾するは江南老燒鍋までゝあらうと思はれる、此の問題にして解決されたならば東清南部線の授受は直ちに行はれるであらうと思はれるが現狀より見て實際授受を了するまでには尙多少の時日を要するならんとの說は眞に近いもので有らうと思はれる、長春第二松花江間の東清

南部線讓渡問題 に關して日本人の多くが單に之れを目前の經濟狀況にのみ考へて現今我南滿洲鐵道株式會社は東清鐵道南部線に於ける貨物の吸集策に成効し居るを以て東清南部線の讓受けを意味少きもの丶如く傳ふるものもあるが今後日露兩國が永く親善を維持して行くにはどうしても現今の如く何等天然地境を有せぬ

長春寬城子の間 に兩國の勢圏の境界を置く事は甚だ好ましからざる狀態にて現今の如きは實に一時の休戰狀態に過ぎぬと云ふ事は其の境を踏んで見ると何人も了解の出來る處である

金牌受領 髮を黑く長くつやを出しきら〳〵として髮の脫けるを防ぐ妙藥 本椿香油

京日案內

普通 一回前金三十錢 番外一回前金六十錢 一行每に五錢增無割引 ▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

◉醫師一名至急招聘委細面談 京城南大門通り五丁目 小川醫院 574

◉日本建瓦葺二階屋三室所在地ノ二 永樂町一丁目二十七番地ノ二 家主永樂町一丁目三十二 堀榮藏 573

◉貸家 日本建二階家間數五、水道、電燈湯殿付 黃金町三井物產附近 蓬萊町中村 電一九七七 572

ハキモノ 商に經驗ある廿歲位迄の者至急入用 仁川宮町いせ德履物店 564

◉石鹼製造法習たし 無給にてよし食費其他は御相談致たし保證人あり御報參上(姓名在社) 595

◉金融 月收の御方へ極秘信用融通 便宜立替御報伺又御來宅 大和町三ノ三二(柄澤前)起木屋 554

▲廿五歲以上の外交家(監督員外交員)採用希望者履歷書攜帶午前中來談 京城本町二ノ一〇六 大正生命支部

◉見習生入用 十四歲以上十八歲迄 高等小學校卒業程度希望者來談あれ 京城三坂通 玉川堂寫眞舘 557

◉囑託外事員募集 永樂町二 吳孤兒院京城支店 551

◉古本熱心高價買入 ▲御報參上 ▲本町四 ▲書肆群書堂 437

◉是非御試賓を乞ふ 電話二七八一番

◉金融 月收の方に極秘信用貸便宜立替等御報伺又は直接來談を要す 本町電車終點花園町部質屋大和屋 539

◉產婆 大和町一丁目四十五 小林カツ 電話一一五五番

番外

◉有給外務員採用 日鮮人(二十五歲以上) 東京國債(明治町一丁目) 562

拾得物公告 一金四拾九錢外一點 右は十月十四日永樂町一丁目にて拾得屆出あり心當の者は申出らるべし ▲京城本町警察署 553

◉京城春川間每日午前八時出發 京城春川間行自動車賃金片道四圓 南大門通一丁目 廣橋自働車 春京 主務 金正淵 電話二一九番 428

恩給年金低利長期卽金 ▲地方同業店取扱假權特別低利讓受 京城永樂町一商品陳列舘前 江州屋本店 481

小兒科 內科 大和町一丁目(日の出橋下る) 爲春堂醫院 院主 古城 俶吉 (電話九二八番) 482

◉銃砲火藥獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 增戶銃砲店 488

礦物定量分拆 京城府太平通(朝鮮公論社左小路) 電話一三四四番 坂元分拆所 538

易 觀相 每日午前九時より十時迄 人を限り依賴に應ず『見料隨意』 永樂町一ノ九 均陵庵 549

給仕採用 志望者は履歷書攜帶來談あれ 朝鮮商業銀行本町支店 571

◉旅館及高等下宿讓受たし(市內に) (姓名在社) 570

古着古道具類 不用品一切 右誠實に買受申候也 京城旭町一丁目 クズタニ商店(電話一八一二) 569

ちゝぶ イセサキ

⊖ 銘仙デー

十月廿三日 廿四日 廿五日 三日間

京城本町二 ⊖丸一吳服店 電六三五

清酒 八拾石 右賣却ス詳細ハ十月二十三日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府中央試驗所

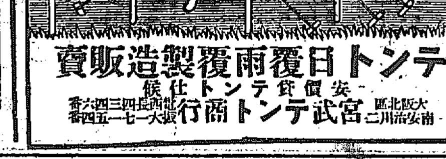
物品拂下 一古制服類拾參點 當局龍山倉庫渡 右來拾壹月拾日競爭入札ニ依リ賣却ス詳細ハ拾月拾九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ 大正五年拾月二十日 朝鮮總督府鐵道局

簿記生徒募集 卒業後は銀行會社商店等へ確實に就職紹介す規則書三錢を要す 京城明治町二丁目 京城簿記專修學舘

新刊書御案內

| 書名 | 著者 | 定價 |
|---|---|---|
| コナント氏銀行論 | 高島誠一 | 二、五〇 |
| 住家設計圖案 | 佐藤功一 | 三、〇〇 |
| 死亡生殘表之研究 | 大石武 | 二、五〇 |
| 西洋上古史 | 村川堅固 | 一、七〇 |
| 實地製材術 | 山田太郎 | 一、五〇 |
| 宇宙進化論 | 新城新藏 | 一、七〇 |
| 算術教材整理と應用問題解說の研究 | 野口、井上、宮田 | 一、一〇 |
| 藝術上の理想主義 | 赤木桁平 | 一、三〇 |
| 支那論 | 山路愛山 | 六〇 |
| 沈默の光 | 稻毛詛風 | 八五 |
| 新譯碧巖錄 | 蜂谷柳莊 | 特一、〇〇 |
| 縮刷荷風傑作鈔 | 桐友散士 | 一、二〇 |
| 世間學 | 浪六 | 九五 |
| 最新看護學 | 岡垣松太郎 | 一、八〇 |
| 投入花盛花圖譜 | 鈴木健太郎 | 一、〇〇 |
| 獨習受驗英語原書の讀み方 | 根本恒太郎 | 四〇 |
| 新家庭女子供の卷 | 小波 | 九〇 |

大阪屋號書店 京城本町

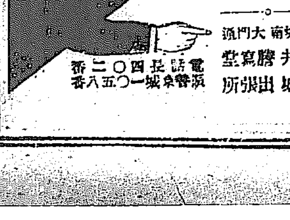


宮武 テント

テント日覆雨覆製造販賣

安價貸テント仕候

大阪北區安治川二 宮武テント商行 電話長西四三三六番 振替大阪一七一五四番



輕便印刷器の覇王

堀井謄寫版

京城南大門通 堀井謄寫堂 京城出張所 電話長四〇二一番 振替東京一〇五八番

# 女鳩

渡邊默禪

（一三八）弱點

齢はとつても昔鍛へた腕前に目に物見せうとてか、家扶の平馬は白小倉の袴をきりゝと高く股立とつて、右手に二尺ばかりの木刀を提げたまゝ、ずいと寄つて來た。

『やアいづれも御苦勞』。

片袖を肩の上まで捲り上げて、口をへの字に老眼を峪と光らす。

『へ、お出なさいやし』。遠州屋の親方は立停つてお辭儀をした。

『賊が入つたさうな。如何いたしたな、その曲者は…いづれ方々のことであるから、卽座に召捕つて功名手柄をなされたことで御座らう。さ、いづれに居る、曲者は…よもや取逃しはなさるまい』。

惡洒落から老居氣を振廻すのではない。いつでも硬くなつて來ると、恁うした龐爪らしい調子になるのが此の老人の癖なのだ。

『へ、何だか知らねえが、飛んでもねえ莫迦を見ちまひました。どうぞ彼處におゐでになるお二人さんに、その臭ひ物のいはれ因緣をお聞きなすつて下さいんし。私だちにやあ何が何やら、さつぱり譯が分らねえんで。へゝ、大方このお屋敷にやあ、惡い狐でも巣をつくつてゐるんで御苦勞さまに大の野郎が揃ひも揃つてこんな夜更に態々魅されに引張出されたんでございやせうよ。まア〳〵明日になつたら油揚持參でお詫にやつてめえりやう』。

『なにが、如何したと』

『へゝ、さいなら』。

氣の逸い手合だけにすた〳〵と去つて了つた。鈴木はお秋の手から提灯を取つて、すか〳〵と秀子の傍へ寄つて來た。其時秀子は鈴木に會うのが面伏らしいやうに、月明りのとゞかぬ木下闇に立つてゐた。お孝はその背後に顏を反けて蹲んだなりに小さくなつてゐた。

鈴木は提灯をつきつけて二人の姿を視た。秀子は苦い顏をした。

『秀さま、是は何事です』。鈴木はぢろりと睨みをくれた。『どうなされたので御座いますか、一體』。

『どうもしやしないわ』。

『爲ないことはないでせう今は何時だと思し召します』。

『さア、何時だか…』。

『もう午前の二時、昔ならば草木も眠るといふ丑の下刻ですぞ。こんな夜更に貴孃は何の御用があつて、お邸內の倂も淋しい箇樣な場所へお出になりました』。

『ゝ、それは……恁うなのよ。今夜は如何してか寢苦しくつて〳〵堪らないもんだから、少し外の寒い空氣に當つたら爽快した心持になつて、樂に寢られるだらうと思つてね。それでお孝を起して一緒に庭を逍遙いてゐたゞけのことなの。ね、爾うよ』。

『はゝア、爾うですか。倂しそれなれば御運動だけでお濟ませになりさうなものです。何の御用があつて十藏をお開けになりました』。

『ねツ、十藏を?!』

『さ、それを承はりませう』。肩を張らせて一歩前に進んだ。

『……』秀子は苦しげな呼吸の音を洩らした。

『お答が出來ませんか』。

『ゝ、それはあの…それは…』。わく〳〵と身顫ひして『お孝、お前から返辭をしておくれ。お孝、お前から』殆んど堪へ切れないやうな悶に劫かされた。

『はい、はい』。お孝は後に立つては見たが、咄嗟の言に支へて眼を白黒させた。『ゝ、それは…あの…』。

『如何したッ!』。鈴木は怒鳴つた。

---


南山町三丁目巴城館通電話二九二〇

齒科診療 橋本齒科醫院

齒科醫學士 橋本清次郎



毛皮なめし並に仕立

鳥獸剝製調進販賣 鳥毛類高價買入れ

萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本

京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番



京城南大門通三丁目(櫻木商店横入る)

入院 隨意

胃腸病院

電話一六五九番

院主 佐々木杏造



コ 糀

京城大平通二丁目

遠藤商店

電話九八二番


□草□の□實

田打 尖

草の實や雲に風ある丘夕陽

巖風や谷をめがけて千草の實

□

たかし

毒草の實紫や陽喰ひ入れる

草の實の漂ひ飛ぶや沼は風

●●●立太子式紀念製藥博覽會●●● 長野縣上田町北信毎日新聞社主催立太子式紀念全國製藥博覽會は來る十一月十一日より同十五日に至る五日間同町に於て開會の筈なるが出品は甲乙丙の三種に分ち甲種(間口六尺奥行三尺)乙種(間口三尺奥行三尺)丙種(少量出品)と定め出品費は甲種十圓乙種四圓丙種一圓五十錢にして幾種類幾個を出品するも差支なく審査の結果優良品に對しては名譽大賞牌、一等金牌、二等銀牌、三等銅牌、褒狀等を授與する都合なり尚傍ら一般商品の陳列場を設けて各種商品の廣告陳列に販賣陳列を爲さしむべく又別に餘興演藝の企てもありと云へば開催の曉は盛況を見るべし

## 商況

下關期米特電

仁川米豆取引所

▲伸び惱む [illegible]

▲大阪の成行 [illegible]

▲能く賣る [illegible]

▲能く買ふ [illegible]

▲現物界 [illegible]

二十一日の十二月限 [illegible]

十月限 十一月限 六千七百石 [illegible]

[illegible]

---

# 今はコシケが強くなる

## 油斷のならぬ婦人病

今は男女とも暑さの爲に身體が衰弱して足腰がダルかつたり、食欲が進まなかつたり、矢鱈に癇癪ざしたり、又は頭痛眩暈等すべて氣力が衰へるものですが、殊に婦人は體質が弱いから一層病氣に犯され易くなります就中最も多いのは素人が一口に血の道だと稱する子宮病で今が婦人にとつて一番危險な時季です。其證據には第一に身體がダルクなると共に白帶下が強くなる、極めて健康の人なら月經以外に分泌物などするもので無いが、平生少しでも白帶下のある人は秋になると分泌機能が盛になる爲に急に其こしげが強くなつて子宮內膜炎となるのであります、ツマリ惡臭を放つほどの腐敗した粘液が增加して子宮の內部が爛れるから其處に炎症を起すのであります。それを打棄てゝおくと足腰が引吊り、下腹に固いゴロ〳〵した物が出來て子宮が痛んだり、月經でもない時に出血したりして遂に慢性症となり、或は不姙症に陷りて一生取返しのつかぬ事になるのです。

### 怖るべき白帶下

何故白帶下が不姙症の原因になるかと申せば之には三つの理由があります。第一にドロ〳〵した粘液の爲に精蟲の進路を塞がれる、第二に卵が姙孕せんとしても發育する場所がなくなる、第三は白帶下の中に強い酸性を含んでゐて子胤となるべき精蟲を殺す。以上の理由から白帶下のある強い婦人は子供が出來ぬのでありますが、ところが世間には白帶下位女に有りがちなものだなど、思つて手當もせずにゐる人がありますが實に危險至極な話で、その爲め全身衰弱を起して一命を失ふやうになつた例は澤山あります、それ故少しでも白帶下のあるのは怖るべき婦人病の證據ですから一刻も早く油斷せず加療せねばなりません。

### 婦人病自宅療法

そこで子宮病の療法として何が最も安全確實であるかと申せばそれは婦人科專門大醫の書かれた『婦人病者の心得』といふ女一代の衞生書を讀んで其通り實行する事です。本書には姙娠と不姙の原理、婦人病一切の療法、産前産後の養生法まで詳しく說いてありますから、何人も自宅で容易に治療する事が出來ます。右『婦人病者の心得』御入用の方は東京市京橋區新榮町笹岡省三氏宛ハガキ又は電話にて御申し込次第無料送呈致します

婦人病を治して子寶を得る鍵は

命の母

效能 ●子宮內膜炎●下腹腰痛●子宮頸管カタル●白帶下●赤帶下●ヒステリー●血の道●月經不順

實驗子福ノ一 長州萩町 齋藤氏愛兒

實驗子福ノ二 朝鮮龍山 酒井氏愛兒

藥價 試用 [illegible]

本舖 東京市京橋新榮町 振替東京二二〇一 大阪市北區本庄中野町 電話東二二二三 笹岡藥房



髪をしなやかに 丈長がく 美しく房々と 黑く漆のやうにするは

廣い世界に タツタ一つ

パール煉香油があるばかり

パール愛用者がおつしやる實話であります

本舖 東京 平尾銑也商店

關西代理店 大阪 平尾贊平支店



最上醬油

特許 機械製 ほまれ味噌

絕對的品質本位

鮮滿釀造界唯一の名譽

於始政五年紀念朝鮮物產共進會

金牌受領

釀造元 仁川港 日本醬油株式會社 電話七一五一番 振替京城一七四番

京城出張所 電話二四五番 振替京城五二三番



美味ヲ以テ好評アル

林檎と梨

朝鮮鳥致院

弘益殖產株式會社農場

振替京城一〇番 電話鳥致院六番



營業品目

罐詰 乾物 海產物 雜穀 清酒 銘茶

漆器 家具 文具 紙 荒物 履物

金物 農具 石炭 石油 陶器 磁器

洗濯石鹸 洋蠟 日本釜 京城釜 サバリ井 提灯

蒲團綿 中入綿 小袖綿 鐵火鉢 箱火鉢 飯ビツ

仁川新町 津田兄弟屋本店 電話七六二番 振替口座京城三八

仁川宮町 津田兄弟屋支店

京城本町 津田兄弟屋支店



冷卸發賣

釀造發賣元 大阪府堺市 肥塚源次郎

京城本町二丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎

同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店



コレラの豫防に殺菌力石炭酸に十倍せる

アイゼル液

傳染病研究所の査檢成績 千倍溶液にてもコレラ菌を五分間に殺滅す

(各藥店にて販賣す)

(目下續々著荷)



特許 男のひみつ病

專賣特許第二七九二四號、同第二九二〇一號、同第二九二六九號の奥空氣治療法器と包皮自然治療器は共に最新發明の輕便自療器にして之を自宅にて秘密に使用せば生殖器の短小、包皮、陰萎、早漏、遺精、夢精、神經衰弱等は頗る手輕に全治し再發の憂なし、ハガキで申込め圖入說明書を無代送呈す

東京京橋木材木町三ノ廿五 東京新療法研究所 電話京橋二七二一番

大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所 電話東二七〇九番